

# Super economy series

## 2次元コードリーダー 設定ガイド

対応機種

**IG610**

**IG610BT**

**etc**



**ウェルコムデザイン株式会社**

U R L : [www.e-welcom.com](http://www.e-welcom.com)  
e-mail: [welcom@e-welcom.com](mailto:welcom@e-welcom.com)

東京 〒101-0045 東京都千代田区神田鍛冶町3-3 神田大木ビル  
TEL. 03-5295-7250(代) FAX. 03-5295-7252

神戸 〒651-2242 神戸市西区井吹台東町1-1-1 西神南センタービル

S D C 〒651-2102 神戸市西区学園東町6丁目2-3-1F  
TEL. 078-993-6010(代) FAX. 078-993-6020 [本部 / SDC]

(※) SDC stands for Support and Delivery Center

[illegible]

1. 本書の内容に関しては、将来予告無しに変更することがあります。
2. 本取扱説明書の全部又は一部を無断で複製することはできません。
3. 本書内に記載されている製品名等の固有名詞は各社の商標又は登録商標です。
4. 本書内において、万一誤り、記載漏れなどお気づきのことがありましたらご連絡ください。
5. 運用した結果の影響について、責任を一切負いかねます。

## 製品保証と注意事項

### 「保証期間」

本製品の保証期間は、ご購入日より1ヶ年とさせていただきます。

### 「保証範囲」

保証期間中に納入者側の責により故障を生じた場合は、納入者側において機器の修理または交換を行います。但し、保証期間内であっても、次に該当する場合は、保証対象から除外させていただきます。

- 需要者側の不適当な取り扱いならびに使用
- 故障の原因が納入者以外の事由による場合
- 外装部品の損傷
- 自然劣化・消耗部品
- 需要者側で改造・修理を行った場合
- 天災地変による場合

尚、ここでいう保証は納入品単体の保障を意味するもので、納入品の故障により誘発される損害はご容赦いただきます。

### 「修理」

修理は全てセドバック方式で行います。現地での出張修理などは一切行いません。

### 「電波障害自主規制について」

本装置は米国通信規制「FCC 第15条補足J」による計算機器制約条件に適合しております。商業環境での使用において妥当な保護措置がなされています。しかし、住宅地域でのご使用は妨害（ラジオ・テレビなどの受信障害）が起こることがあります。

### 「その他」

- 納入品の価格には、サービス費用は一切含んでおりません。

## 安全上の注意

- ☆ ご使用の前に本書をお読みになり、正しく安全にご使用ください。
- ☆ 本書は、いつでも見られる場所に大切に保管してください。



### 使用上の注意

- ✓ レーザ照射窓を覗いたり、レーザービームを直視することは絶対にしないでください。
- ✓ 分解・改造しないでください。発熱・火災・けがの原因となります。
- ✓ ガス・火薬など可燃性物質が発生する場所での使用はしないでください。破裂・発火・火災の原因となります。
- ✓ 衝撃を与えたり、落としたり、本機の上に物を置いたりしないでください。
- ✓ 小児の手の届くところに置いたり、使用させないでください。
- ✓ 雨や水などがかかる場所で使用しないでください。
- ✓ ストラップを持って振り回したりしないでください。破損やけがの原因となります。
- ✓ 炎天下の車内や冷凍庫など高温・低温になる場所には放置しないでください。
- ✓ 湿度の高い場所や誇りの多い場所には放置しないでください。
- ✓ 使用温度範囲内で使用してください。
- ✓ 静電気の起こりやすい場所やテレビなどの磁気が発生する機器のそばには置かないでください。
- ✓ 安定しない場所に放置、保管しないでください。
- ✓ 低温の場所から高温の場所へ移動すると、結露が発生する恐れがあります。結露が発生した場合は、水滴が完全に蒸発するまで、本機をしようしないでください。
- ✓ 本機のクリーニングは、柔らかい布で軽くからぶきするか、中性洗剤に浸した柔らかい布をよく絞ってから軽く拭いてください。

### 充電機および充電器・充電に関する注意（前項目に加え、下記の事項に注意ください）

- ✓ 付属のACアダプタ以外は、絶対に使用しないでください。発熱・火災・けがの原因となります。
- ✓ 異物を入れないでください。ショートや発熱により、火災・感電の恐れがあります。
- ✓ ACプラグや電源コードを引っ張ったり、ねじったり、負荷をかけたり、加工したりしないでください。火災・感電の原因となります。
- ✓ ACプラグや電源コードが傷んだ場合は、すぐに新しいものと交換してください。火災・感電の原因となります。
- ✓ 濡れた手で電源の抜き差しを行わないでください。感電の原因となります。
- ✓ 充電は、必ず0~40℃の温度範囲で行ってください。
- ✓ 指定以外の充電機を使用しないでください。
- ✓ 充電機は、デバイスから取り外し、金属などが無い0~40℃の温度範囲の場所に保管してください。
- ✓ 充電機を充電しても動作時間が短い場合は、充電機の寿命です。新しい充電機をお求めください。
- ✓ ご不要になった充電機を廃棄する場合は、各自治体の条例に従い、正しく処理してください。

## INDEX

|                                         |    |
|-----------------------------------------|----|
| 1. はじめに                                 | 7  |
| 1.2. 梱包内容の確認                            | 7  |
| 1.3. リーダーの設置                            | 7  |
| 1.4. インディケーター                           | 8  |
| 1.4.1. リーダーインディケーター                     | 8  |
| 1.4.2. クレードルインディケーター                    | 8  |
| 1.5. 工場デフォルトに戻す                         | 8  |
| 1.6. USBキーボードインターフェイスの初期化(出荷時の設定に戻す)    | 9  |
| USBキーボードインターフェイスの漢字出力                   | 9  |
| 1.7. USBバーチャルCOMインターフェイスの初期化(出荷時の設定に戻す) | 9  |
| 1.8. RS232Cインターフェイスの初期化(出荷時の設定に戻す)      | 9  |
| 1.9. キーボードインターフェイスの初期化(出荷時の設定に戻す)       | 9  |
| 1.10. クレードルとのBluetooth再ペアリング            | 10 |
| 1.11. システムリセット                          | 10 |
| 2. ビープ                                  | 11 |
| 2.1. グットリードビープ                          | 11 |
| 2.2. ビープトーン                             | 11 |
| 2.3. ビープ音量                              | 11 |
| 2.4. ビープ長さ                              | 12 |
| 3. パワーセーブモード                            | 13 |
| 3.1. パワーセーブモード移行デレイ                     | 13 |
| 4. ホストインターフェイス                          | 14 |
| 4.1. インターフェイスの選択                        | 14 |
| 4.2. USBキーボードインターフェイス(HID)              | 14 |
| 4.2.1. キーボード言語                          | 14 |
| 4.2.2. 大文字/小文字変換                        | 14 |
| 4.2.3. CAPSロック検出                        | 15 |
| 4.2.4. ALTキー                            | 15 |
| USBキーボードインターフェイスの漢字出力                   | 15 |
| 4.2.5. 数字データ送信                          | 15 |
| 4.3. RS232Cインターフェイス                     | 16 |
| 4.3.1. ポート                              | 16 |
| 4.3.2. データビット                           | 16 |
| 4.3.3. ストップビット                          | 16 |
| 4.3.4. パリティ                             | 17 |
| 4.3.5. ハンドシェイク                          | 17 |
| 4.4. キャラクター間デレイ                         | 18 |
| 5. 読取モード                                | 19 |
| 5.1. ピックリストモード                          | 19 |
| 5.2. 連続コード読み取り                          | 19 |
| 5.2.1. エンコード読み取り                        | 20 |
| 5.3. 読取試行タイマー                           | 20 |
| 5.4. 同一コード読取防止タイマー                      | 21 |
| 6. 1Dコード読み取りに関するパラメータ                   | 22 |
| 6.1. UPC/EAN/JAN                        | 22 |
| 6.2. コード128/GS1-128                     | 27 |
| 6.3. コード39                              | 29 |
| 6.4. コード93                              | 30 |
| 6.5. コード11                              | 31 |
| 6.6. インタリーブート2オブ5(ITF)                  | 32 |
| 6.7. ディスクリート2オブ5(DTF)                   | 33 |
| 6.8. コーダバー(NW7)                         | 34 |
| 6.9. MSI                                | 35 |
| 6.10. マトリクス2オブ5                         | 36 |

|                                                   |    |
|---------------------------------------------------|----|
| 6.11. GS1 Databar .....                           | 37 |
| 6.12. 1D コード 読み取りの特殊設定 .....                      | 39 |
| 反転 1D コード の読み取り .....                             | 39 |
| リダクタ ソールバ .....                                   | 39 |
| キャラクタ間ギャップ サイズ .....                              | 39 |
| セキュリティバ .....                                     | 40 |
| 1D クワイエットゾーンバ .....                               | 40 |
| 7. Composite コード 読み取りに関するパラメータ .....              | 41 |
| 7.1. Composite CC-C .....                         | 41 |
| 7.2. Composite CC-A/B .....                       | 41 |
| 7.3. Composite TLC39 .....                        | 41 |
| 7.4. Composite 反転 .....                           | 41 |
| 7.5. UPC Composite モード .....                      | 42 |
| 7.6. Composite ビューモード .....                       | 42 |
| 7.7. UCC/EAN Composite の GS-128 イミュレーションモード ..... | 42 |
| 8. 2D コード 読み取りに関するパラメータ .....                     | 43 |
| 8.1. PDF417 .....                                 | 43 |
| 8.2. MicroPDF417 .....                            | 43 |
| 8.3. Maxicode .....                               | 43 |
| 8.4. Data Matrix .....                            | 44 |
| Data Matrix 反転読み取り .....                          | 44 |
| Data Matrix ミラーイメージ 読み取り .....                    | 44 |
| 8.5. QR コード .....                                 | 45 |
| 8.5. Aztec .....                                  | 45 |
| Aztec 反転読み取り .....                                | 45 |
| 9. 郵便コード 読み取りに関するパラメータ .....                      | 46 |
| 9.1. US Postnet .....                             | 46 |
| 9.2. US Planet .....                              | 46 |
| 9.3. 日本郵便コード (加付バーコード) .....                      | 46 |
| 10. コード ID 送信 .....                               | 47 |
| 11. プリフィックス/サフィクス .....                           | 49 |
| 11.1. データ送信フォーマット .....                           | 49 |
| 12. FN1 代替キャラクタ .....                             | 50 |
| 13. ノーリード 送信 .....                                | 50 |
| 14. Bluetooth .....                               | 51 |
| 14.1. プロファイル .....                                | 51 |
| SPP マスターモード 1(専用クレードル) .....                      | 51 |
| SPP マスターモード 2(専用クレードル以外、市販ドングルなど) .....           | 51 |
| SPP スレーブ モード .....                                | 52 |
| HID モード .....                                     | 52 |
| PIN コード の設定 .....                                 | 52 |
| 14.2. クレードル ID 表示 .....                           | 54 |
| 14.3. 自動再接続 .....                                 | 54 |
| 14.4. 通信圏外メモリ機能 .....                             | 54 |
| 14.5. iOS ソフトウェアキーボード 表示切替 .....                  | 54 |
| 14.6. スリープモード .....                               | 55 |
| 14.7. メリモード .....                                 | 55 |
| 14.8. システムリセット .....                              | 55 |
| 15. スマートフォン液晶読み取り .....                           | 56 |
| 補足 A. 数値バーコード .....                               | 57 |
| 補足 B. キャラクタ/キーストロク対応表 .....                       | 58 |
| 補足 C. ASCII コード 表 .....                           | 60 |
| 補足 D. サンプルバーコード .....                             | 61 |
| 修理依頼書 .....                                       | 62 |

## 1. はじめに

この度は、弊社バーコードリーダ（以下、リーダ）をお買い上げいただきありがとうございます。

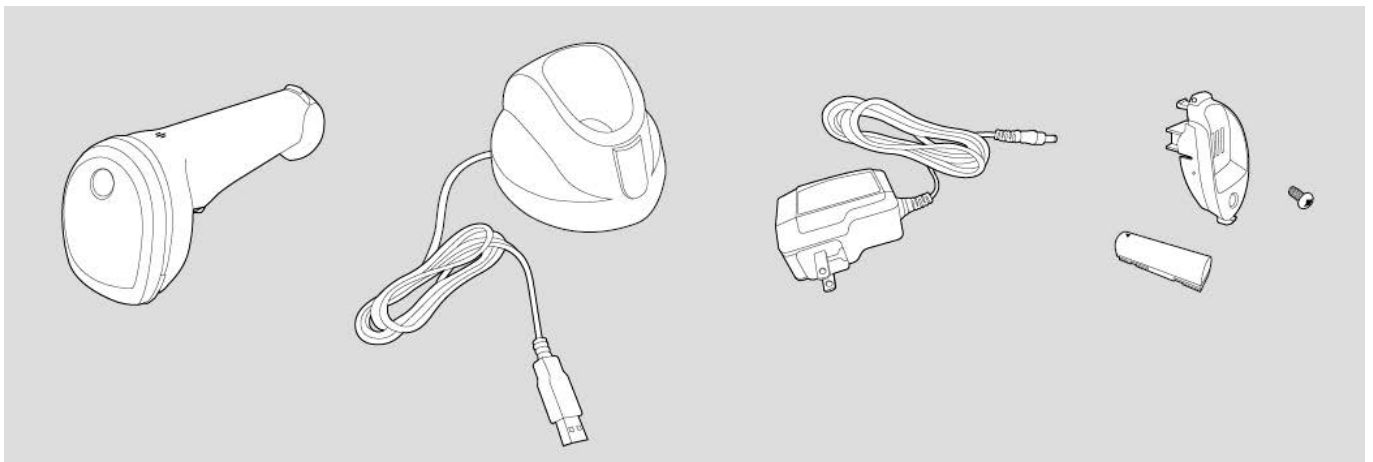
本書は、リーダのパラメータ設定を行うために用意された別冊ガイドです。基本的な導入方法に関しては、製品に同梱されている導入ガイドを参照ください。

本書に掲載しているコマンドバーコードを読み取ることで、リーダのインターフェイスや読み取りに関するパラメータ設定が行えます。設定したパラメータが不揮発性メモリに保存されるため、電源を切にして設定が消えることはありません。

### 1.2. 梱包内容の確認

梱包内容は、下記のようになっています。ご確認の上、万一不足、破損品がありましたら、お買い上げの販売店までご連絡ください。

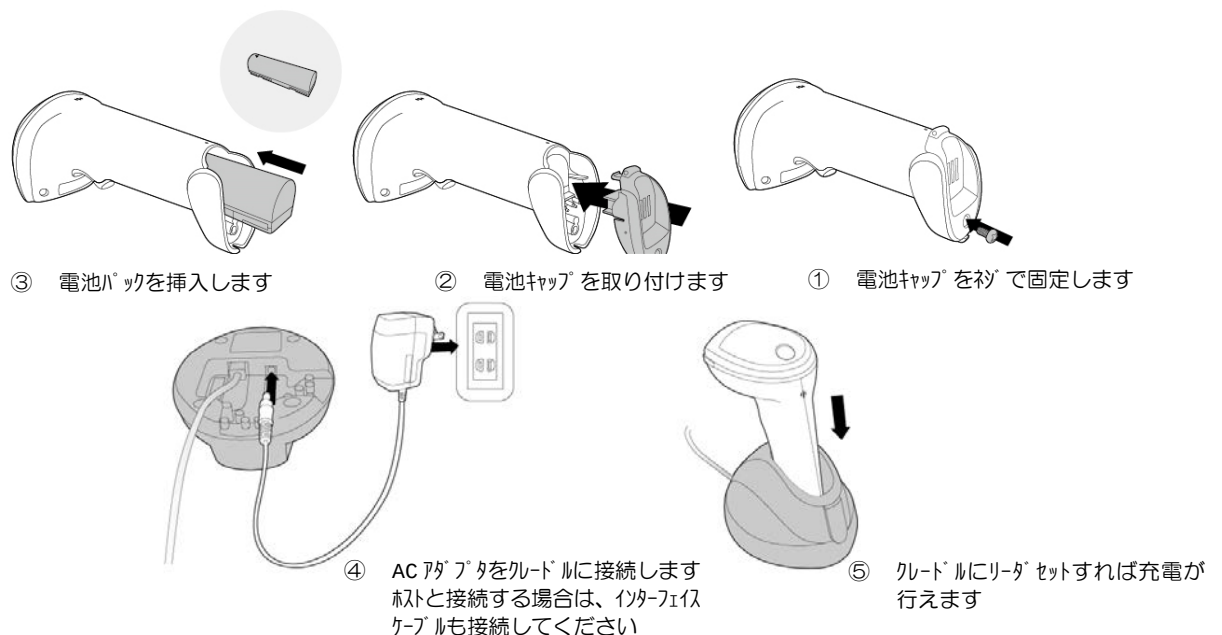
|                     |     |
|---------------------|-----|
| ➤ リーダ 本体 (電池キャップ 付) | 1 台 |
| ➤ クレドール             | 1 台 |
| ➤ 充電電池パック           | 1 個 |
| ➤ インターフェイスケーブル      | 1 本 |
| ➤ AC アダプタ           | 1 個 |
| ➤ 簡易取説 (本書)         | 1 冊 |



製品の個装箱は、修理などで製品を返送する場合、輸送時の損傷を避けるために必要となります。大切に保管してください。

### 1.3. リーダ の設置

下記の手順に従って、設置を行ってください。



## 1.4. インディケーター

### 1.4.1. リーダーインディケーター

| ステータス                | リーダーインディケーター        |                 |
|----------------------|---------------------|-----------------|
|                      | LED                 | ビープ             |
| 電源ON                 | 緑色点滅 1 回 (同時にビープ鳴動) | ビープ x2 ループ      |
| バッテリー無し              | 赤色点滅 3 回            | ビープ             |
| バッテリーON              | 赤色点滅 1 回            | ビープ (20 秒間隔で鳴動) |
| バッテリーON (ほとんど無し)     | 赤色点滅 4 回            | ビープ (10 秒間隔で鳴動) |
| メモリフル                | 赤色点滅 2 回            | ビープ             |
| 読取&送信成功 or 読取&メモリ成功  | 緑色点滅 1 回            | ビープ             |
| 送信失敗                 | 赤色点滅 2 回            | ビープ             |
| 設定開始 (コンフィグレーションモード) | 緑色点滅 1 回 (同時にビープ鳴動) | ビープ             |
| BT 接続試行中             | 青色点滅 2 回/秒          | 無し              |
| BT 接続成功              | 青色点滅 1 回/秒          | ビープ (中音→高音)     |
| BT 接続中               | 青色点滅 1 回/秒          | 無し              |
| BT 接続切断              | 青色点滅 2 回            | ビープ (高音→中音)     |
| 充電中                  | 赤色常時点灯              | 無し              |
| 充電完了                 | 緑色常時点灯              | 無し              |
| スリープモード移行            | 無し                  | ビープ (高音→中音)     |

ビープ=ショート高音, ビープ=ロング 中音

### 1.4.2. クレードリンディケーター

| ステータス            | クレードリンディケーター |     |
|------------------|--------------|-----|
|                  | LED          | ビープ |
| 電源ON             | 緑色点滅 1 回     | 無し  |
| 送信成功             | 緑色点滅 1 回     | 無し  |
| BT 接続中           | 青色常時点灯       | 無し  |
| バッテリーON (ほとんど無し) | 赤色点滅 4 回     | 無し  |

## 1.5. 工場ディフォルトに戻す

下記のマストマトリクスコードと2つマストバーコードを順番に読み取ってください。

|                                                                                                                                |                                                                                                                                                                                                                                                                                      |
|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| <p>① リーダーインディフォルト</p>  <p>V1.1 2015 Dec</p> | <p>② Bluetoothパラメータディフォルト</p>  <p>* % + \$ 0 0 0 C \$ *</p> <p>③ リーダー/クレードルディフォルト</p>  <p>* % \$ + / 2 *</p> |
|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|



## 1.6. USB キーボード インターフェイスの初期化(出荷時の設定に戻す)

「工場デフォルトに戻す」を読み取った後、上から順番に読み取ってください。

|                                                                                                |                              |
|------------------------------------------------------------------------------------------------|------------------------------|
| <br>% 0 X O 8 | USB キーボード インターフェイス           |
| <br>% 0 Z V 9 | 106/109 日本語キーボード<br>DATA<CR> |

※ 設定完了後、パソコンリセット及び PC の電源を切にし、再立ち上げを行ってください。

## USB キーボード インターフェイスの漢字出力

漢字出力を行う場合は、続けて、下記を上から順番に読み取ってください。

|                                                                                                    |               |
|----------------------------------------------------------------------------------------------------|---------------|
| <br>* % 0 3 O 8 * | ALT キー        |
| <br>* % % 3 C 3 * | ソフト JIS 日本語送信 |

## 1.7. USB バージナル COM インターフェイスの初期化(出荷時の設定に戻す)

「工場デフォルトに戻す」を読み取った後、上から順番に読み取ってください。

|                                                                                                      |                                                                |
|------------------------------------------------------------------------------------------------------|----------------------------------------------------------------|
| <br>* % 0 0 8 8 * | USB バージナル COM インターフェイス<br>19200/8/N/1, RTS/CTS 制御無し<br>データ<CR> |
|------------------------------------------------------------------------------------------------------|----------------------------------------------------------------|

※ 設定完了後、パソコンリセット及び PC の電源を切にし、再立ち上げを行ってください。

※ 専用ドライバは、弊社 WEB ページより入手可能です。

## 1.8. RS232C インターフェイスの初期化(出荷時の設定に戻す)

「工場デフォルトに戻す」を読み取った後、上から順番に読み取ってください。

|                                                                                                      |                                                         |
|------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------|
| <br>* % 0 0 U 8 * | RS232C インターフェイス<br>19200/8/N/1, RTS/CTS 制御無し<br>データ<CR> |
|------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------|

※ 設定完了後、パソコンリセット及び PC の電源を切にし、再立ち上げを行ってください。

## 1.9. キーボード インターフェイスの初期化(出荷時の設定に戻す)

「工場デフォルトに戻す」を読み取った後、上から順番に読み取ってください。

|                                                                                                      |                              |
|------------------------------------------------------------------------------------------------------|------------------------------|
| <br>* % 0 0 U 0 * | キーボード インターフェイス               |
| <br>% 0 Z V 9     | 106/109 日本語キーボード<br>DATA<CR> |

## 1.10. クレートルとの Bluetooth 再ペアリング

何らかの原因でクレートルとのペアリングが切断された場合は、下記の手順で再ペアリングを行ってください。

上から順番に読み取ってください。

|                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                          |             |
|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------|
| <br>* % A 1 J 3 *                                                                                                                                                                                                                                       | SPP マスターモード |
| <p>続けて、クレートル裏面の MAC アドレスコードをスキャンします。MAC アドレスコードをスキャンすると、リーダは、緑色 LED 一回点滅とビープ 3 回を鳴動します。接続が確立すると、リーダはビープ 000-とビープを鳴動し、青色 LED を 30-点滅させ、クレートルの LED が青色常時点灯します。<u>接続の確立には、10 秒程度要します。</u></p> <p>MAC アドレスコード 例</p> <br>* % + \$ 0 0 1 C 9 7 1 5 A D 2 E * |             |

## 1.11. システムコマンド

下記にシステムコマンドバーコードを示します。

| コマンドバーコード                                                                                                    | 説明                                                   |
|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------|
| <br>1 0 4 0 6 0 1          | <u>パラメータ設定有効</u><br>パラメータ設定用コマンドバーコードの読み取りを有効にします。   |
| <br>1 0 4 0 6 0 0         | <u>パラメータ設定無効</u><br>パラメータ設定用コマンドバーコードの読み取りを無効にします。   |
| <br>* % + \$ 0 0 0 K \$ * | <u>リーダファームウェアバージョン</u><br>リーダファームウェアバージョンを出力します。     |
| <br>* % + \$ 0 0 0 Y \$ * | <u>クレートルファームウェアバージョン</u><br>クレートルファームウェアバージョンを出力します。 |
| <br>* % + \$ 0 0 0 2 \$ * | <u>リーダ MAC アドレス</u><br>リーダ MAC アドレスを出力します。           |
| <br>* % + \$ 0 0 1 P \$ * | <u>クレートル MAC アドレス</u><br>クレートル MAC アドレスを出力します。       |

## 2. ビーブ

### 2.1. グットリードビーブ

| コマンドバーコード                                                                                          | 説明 | デフォルト |
|----------------------------------------------------------------------------------------------------|----|-------|
| <br>1 0 4 0 0 2 1 | 有り | ■     |
| <br>1 0 4 0 0 2 0 | 無し |       |

### 2.2. ビーブトーン

| コマンドバーコード                                                                                            | 説明 | デフォルト |
|------------------------------------------------------------------------------------------------------|----|-------|
| <br>2 0 5 0 E 0 2   | 低音 |       |
| <br>2 0 5 0 E 0 1  | 中音 |       |
| <br>2 0 5 0 E 0 0 | 高音 | ■     |

### 2.3. ビーブ音量

| コマンドバーコード                                                                                            | 説明  | デフォルト |
|------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----|-------|
| <br>2 0 5 0 8 0 2 | 小音量 |       |
| <br>2 0 5 0 8 0 1 | 中音量 |       |
| <br>2 0 5 0 8 0 0 | 大音量 | ■     |

## 2.4. ビーコード長さ

| コードバーコード                                                                                           | 説明 | デフォルト |
|----------------------------------------------------------------------------------------------------|----|-------|
| <br>N 0 2 7 4 0 0 | 短い |       |
| <br>N 0 2 7 4 0 1 | 普通 |       |
| <br>N 0 2 7 4 0 2 | 長い | ■     |

### 3. パワーセーブモード

パワーセーブモードを有効にすると、リーダーは、読み取り試行後、バッテリー消費を抑えるため、パワーセーブモードへ移行します。

| コマンドバーコード                                                                                          | 説明           | デフォルト |
|----------------------------------------------------------------------------------------------------|--------------|-------|
| <br>1 0 4 0 4 5 0 | パワーセーブモード 無効 |       |
| <br>1 0 4 0 4 5 1 | パワーセーブモード 有効 | ■     |

#### 3.1. パワーセーブモード 移行デレイ

読み取り試行後、ここで設定された時間が経過すると、リーダーは、パワーセーブモードへ移行します。

| コマンドバーコード                                                                                            | 説明    | デフォルト |
|------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------|-------|
| <br>2 0 5 1 0 1 1   | 1 秒後  | ■     |
| <br>2 0 5 1 0 1 5  | 5 秒後  |       |
| <br>2 0 5 1 0 2 1 | 1 分後  |       |
| <br>2 0 5 1 0 2 5 | 5 分後  |       |
| <br>2 0 5 1 0 2 B | 15 分後 |       |
| <br>2 0 5 1 0 3 1 | 1 時間後 |       |

## 4. ホストインターフェイス

### 4.1. インターフェイスの選択

| コマンドバーコード                                                                                          | 説明                        | デフォルト |
|----------------------------------------------------------------------------------------------------|---------------------------|-------|
| <br>* % 0 0 U 8 * | RS232C インターフェイス           |       |
| <br>* % 0 X O 8 * | USB キーボード インターフェイス(HID)   | ■     |
| <br>* % 0 0 8 8 * | USB バーチャル COM インターフェイス(*) |       |

### 4.2. USB キーボード インターフェイス(HID)

#### 4.2.1. キーボード言語

| コマンドバーコード                                                                                            | 説明       | デフォルト |
|------------------------------------------------------------------------------------------------------|----------|-------|
| <br>* % 0 Z V O *  | 英語キーボード  | ■     |
| <br>* % 0 Z V 9 * | 日本語キーボード |       |

#### 4.2.2. 大文字/小文字変換

| コマンドバーコード                                                                                            | 説明          | デフォルト |
|------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------|-------|
| <br>* % 0 3 3 0 * | 大文字/小文字変換無し | ■     |
| <br>* % 0 3 3 1 * | 大文字変換有り     |       |
| <br>* % 0 3 3 2 * | 小文字変換有り     |       |

### 4.2.3. CAPS ロック検出

| コマンドバーコード                                                                                          | 説明   | デフォルト |
|----------------------------------------------------------------------------------------------------|------|-------|
| <br>* % 0 X 8 0 * | 検出無し | ■     |
| <br>* % 0 X 8 8 * | 検出有り |       |

### 4.2.4. ALT シークス

| コマンドバーコード                                                                                          | 説明         | デフォルト |
|----------------------------------------------------------------------------------------------------|------------|-------|
| <br>* % 0 3 0 0 * | ALT シークス無し | ■     |
| <br>* % 0 3 0 8 * | ALT シークス有り |       |

## USB キーボード インターフェイスの漢字出力

漢字出力を行う場合は、下記を上から順番に読み取ってください。

|                                                                                                                                                 |                                                                                                                       |
|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| ALT シークス有り<br><br>* % 0 3 0 8 *                              |                                                                                                                       |
| 日本語キーボード<br><br>* % 0 Z V 9 *<br>↓ 続けて下記の何れかの送信方法を読み取ってください。 |                                                                                                                       |
| シフト JIS 日本語送信<br><br>* % % 3 C 3 *                           | UTF-8 日本語送信<br><br>* % % 3 C 7 * |

### 4.2.5. 数字データキー送信

| コマンドバーコード                                                                                            | 説明          | デフォルト |
|------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------|-------|
| <br>* % 0 1 K 0 * | 数字データキー送信無し | ■     |
| <br>* % 0 1 K 4 * | 数字データキー送信有り |       |

## 4.3. RS232 インターフェイス

### 4.3.1. ボーレート

| コマンドバーコード                                                                                            | 説明       | デフォルト |
|------------------------------------------------------------------------------------------------------|----------|-------|
| <br>* % 0 Y 7 1 *   | 1200bps  |       |
| <br>* % 0 Y 7 2 *   | 2400bps  |       |
| <br>* % 0 Y 7 3 *   | 4800bps  |       |
| <br>* % 0 Y 7 7 *   | 9600bps  |       |
| <br>* % 0 Y 7 4 *   | 19200bps | ■     |
| <br>* % 0 Y 7 5 * | 38400bps |       |

### 4.3.2. データビット

| コマンドバーコード                                                                                            | 説明   | デフォルト |
|------------------------------------------------------------------------------------------------------|------|-------|
| <br>* % 0 Y 8 0 * | 7ビット |       |
| <br>* % 0 Y 8 8 * | 8ビット | ■     |

### 4.3.3. ストップビット

| コマンドバーコード                                                                                            | 説明   | デフォルト |
|------------------------------------------------------------------------------------------------------|------|-------|
| <br>* % 0 Y 0 8 * | 1ビット | ■     |
| <br>* % 0 Y 0 0 * | 2ビット |       |



#### 4.3.4. パリティ

| コマンドバーコード                                                                                          | 説明   | デフォルト |
|----------------------------------------------------------------------------------------------------|------|-------|
| <br>* % 0 Y N 7 * | 無し   | ■     |
| <br>* % 0 Y N 2 * | 偶数   |       |
| <br>* % 0 Y N 3 * | 奇数   |       |
| <br>* % 0 Y N 1 * | マーク  |       |
| <br>* % 0 Y N 0 * | スペース |       |

#### 4.3.5. ハンドシェイク

| コマンドバーコード                                                                                            | 説明          | デフォルト |
|------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------|-------|
| <br>* % 0 1 8 0 * | RTS/CTS 無し  | ■     |
| <br>* % 0 1 8 8 * | RTS/CTS 有り  |       |
| <br>* % 0 1 4 0 * | ACK/NAK 無し  | ■     |
| <br>* % 0 1 4 4 * | ACK/NAK 有り  |       |
| <br>* % 0 3 K 0 * | XON/XOFF 無し | ■     |
| <br>* % 0 3 K 4 * | XON/XOFF 有り |       |

## 4.4. キャラクタ間デレイ

| コマンドバーコード                                                                                            | 説明      | デフォルト |
|------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------|-------|
| <br>* % 0 0 7 0 *   | 0 ミリ秒   | ■     |
| <br>* % 0 0 7 1 *   | 5 ミリ秒   |       |
| <br>* % 0 0 7 2 *   | 10 ミリ秒  |       |
| <br>* % 0 0 7 3 *   | 25 ミリ秒  |       |
| <br>* % 0 0 7 4 *   | 50 ミリ秒  |       |
| <br>* % 0 0 7 5 *  | 100 ミリ秒 |       |
| <br>* % 0 0 7 6 * | 200 ミリ秒 |       |
| <br>* % 0 0 7 7 * | 300 ミリ秒 |       |

## 5. 読取モード

| コマンドバーコード                                                                                          | 説明                                                                                            | デフォルト |
|----------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------|-------|
| <br>2 0 5 0 2 0 0 | <u>標準トリガモード</u><br>トリガを押すと、LEDを点灯し、読み取りを試みます。コードを読み取るか、読取試行タイマーで設定された時間が経過すると、読み取りフェーズを終了します。 | ■     |
| <br>2 0 5 0 2 0 7 | <u>フラッシュ検出モード</u><br>コードを検出すると、自動的にLEDを点灯し、読み取りを試みます。一定時間経過すると、LEDを消灯し、待機状態に移行します。            |       |
| <br>2 0 5 0 2 0 9 | <u>自動照準モード</u><br>リーダーを持ち上げると、IIRを点灯します。トリガを押すと、コードの読み取りを行います。待機状態が約2秒続くと、IIRを消灯します。          |       |

### 5.1. ピックリストモード

ピックアップモードを有効にすると、隣接する複数のコードから1つずつコードを取り出して読み取ることができます。但し、この機能は、読取速度を低下させる場合があります、長いコードを読み取る機能を妨げることがあります。

| コマンドバーコード                                                                                            | 説明                       | デフォルト |
|------------------------------------------------------------------------------------------------------|--------------------------|-------|
| <br>N 0 1 9 2 0 2  | ピックアップモードを常に有効にする        |       |
| <br>N 0 1 9 2 0 1 | ピックアップモードを手持モードで有効にする    |       |
| <br>N 0 1 9 2 0 3 | ピックアップモードを手スフリーモードで有効にする |       |
| <br>N 0 1 9 2 0 0 | ピックアップモードを常に無効にする        | ■     |

### 5.2. 連続コード読み取り

連続コード読み取りを有効にすると、トリガを押している間、複数のコード読み取りが行えます。この機能を有効にする場合、合わせて先のピックアップモードを有効にすることをお勧めします。ピックアップモードを無効にすると、リーダーの視野内に複数コードが存在する場合に、誤読する可能性があります。

| コマンドバーコード                                                                                          | 説明              | デフォルト |
|----------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------------|-------|
| <br>N 0 2 8 9 1 | 連続コード読み取りを有効にする |       |
| <br>N 0 2 8 9 0 | 連続コード読み取りを無効にする | ■     |

## 5.2.1. 1Dコード読み取り

連続1Dコード読み取りが有効な場合に設定できるオプションです。1Dコード読み取りを有効にすると、1Dコード（同一コードは読み取らない）のみを読み取ります。

| コマンドバーコード                                                                                        | 説明              | デフォルト |
|--------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------------|-------|
| <br>N 0 2 D 3 1 | 1Dコード読み取りを有効にする | ■     |
| <br>N 0 2 D 3 0 | 1Dコード読み取りを無効にする |       |

## 5.3. 読取試行タイマー

読み取りを試行する時間を設定します。ここで設定した時間を経過しても読み取りが完了しない場合は、読み取り失敗を終了します。

| コマンドバーコード                                                                                                | 説明                                                                                                                                        | デフォルト        |
|----------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--------------|
| <br>3 0 5 0 0 2 0 5 6 3 | <u>読取試行タイマー</u><br>左の開始コマンドバーコードをスキャンした後、続けて、「数値バーコード表」から2桁をスキャンします。設定範囲は、05~99で、単位は0.1秒です。例えば、0.5秒に設定したい場合は、「読取試行タイマー」の「0」「5」の順でスキャンします。 | 99<br>(9.9秒) |
| 数値バーコード表                                                                                                 |                                                                                                                                           |              |
| <br>A 0               | <br>A 1                                              |              |
| <br>A 2               | <br>A 3                                              |              |
| <br>A 4               | <br>A 5                                              |              |
| <br>A 6               | <br>A 7                                              |              |
| <br>A 8               | <br>A 9                                              |              |
| キャンセル<br><br>A -      |                                                                                                                                           |              |

## 5.4. 同一コード 読取防止タイマー

プレゼンテーションモードでの同一コード 読み取りを防止する時間を設定します。ここで設定された時間以上、コード が読取エリアから外れない限り、同一コード の読み取りを行いません。

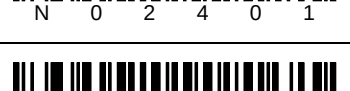
| コマンドバーコード                                                                                                                      | 説明                                                                                                                                                   | デフォルト         |
|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------------|
| <div></div> <div>3 0 5 0 1 2 0 0 6 3</div>    | <u>同一コード 読取防止タイマー</u><br>左の開始コマンドバーコードをスキャンした後、続けて、「数値バーコード表」から2桁をスキャンします。設定範囲は、00~99で、単位は0.1秒です。例えば、0.5秒に設定したい場合は、「同一コード 読取防止タイマー」「0」「5」の順でスキャンします。 | 04<br>(0.4 秒) |
| 数値バーコード表                                                                                                                       |                                                                                                                                                      |               |
| <div><div>0</div></div> <div>A 0</div>        | <div><div>1</div></div> <div>A 1</div>                            |               |
| <div><div>2</div></div> <div>A 2</div>        | <div><div>3</div></div> <div>A 3</div>                            |               |
| <div><div>4</div></div> <div>A 4</div>        | <div><div>5</div></div> <div>A 5</div>                            |               |
| <div><div>6</div></div> <div>A 6</div>       | <div><div>7</div></div> <div>A 7</div>                           |               |
| <div><div>8</div></div> <div>A 8</div>      | <div><div>9</div></div> <div>A 9</div>                          |               |
| <div>キャンセル</div> <div></div> <div>A -</div> |                                                                                                                                                      |               |

## 6. 1D コード 読み取りに関するパラメータ

| コマンドバーコード                                                                                  | 説明                 | デフォルト |
|--------------------------------------------------------------------------------------------|--------------------|-------|
| <br>N 7 0 | 全コードタイプの読み取りを無効にする |       |
| <br>N 7 1 | 全コードタイプの読み取りを有効にする |       |

### 6.1. UPC/EAN/JAN

| コマンドバーコード                                                                                            | 説明               | デフォルト |
|------------------------------------------------------------------------------------------------------|------------------|-------|
| <br>1 0 0 0 0 1 1   | UPC-A を有効にする     | ■     |
| <br>1 0 0 0 0 1 0   | UPC-A を無効にする     |       |
| <br>1 0 0 0 0 2 1  | UPC-E を有効にする     | ■     |
| <br>1 0 0 0 0 2 0 | UPC-E を無効にする     |       |
| <br>1 0 0 0 1 5 1 | UPC-E1 を有効にする    | ■     |
| <br>1 0 0 0 1 5 0 | UPC-E1 を無効にする    |       |
| <br>1 0 0 0 0 4 1 | EAN/JAN-8 を有効にする | ■     |
| <br>1 0 0 0 0 4 0 | EAN/JAN-8 を無効にする |       |

|                                                                                                      |                                                                                                                                                |   |
|------------------------------------------------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---|
| <br>1 0 0 0 0 3 1   | EAN/JAN/ISBN-13 を有効にする                                                                                                                         | ■ |
| <br>1 0 0 0 0 3 0   | EAN/JAN/ISBN-13 を無効にする                                                                                                                         |   |
| <br>1 0 0 0 2 3 1   | Bookland EAN を有効にする<br>有効にした場合は、Bookland ISBN フォーマットを設定してください。また、アドオン読み取りを「アドオン付のみを読み取る」、「アドオン付を自動識別する」、「978/979 アドオンモード」を有効にする」の何れかに設定してください。 |   |
| <br>1 0 0 0 2 3 0   | Bookland EAN を無効にする                                                                                                                            | ■ |
| <br>N 0 2 4 0 0     | Bookland ISBN-10 フォーマット<br>10 桁の形式で、978 で始まるデータが認識されます。979 で始まるデータは認識されません。                                                                    | ■ |
| <br>N 0 2 4 0 1     | Bookland ISBN-13 フォーマット<br>13 桁の形式で、978 及び 979 で始まるデータが認識されます。                                                                                 |   |
| <br>N 0 2 6 9 1    | ISSN EAN を有効にする                                                                                                                                |   |
| <br>N 0 2 6 9 0   | ISSN EAN を無効にする                                                                                                                                | ■ |
| <br>2 0 1 0 E 0 1 | アドオン付のみを読み取り                                                                                                                                   |   |
| <br>2 0 1 0 E 0 0 | アドオン付を無視する                                                                                                                                     | ■ |
| <br>2 0 1 0 E 0 2 | アドオン付を自動識別する                                                                                                                                   |   |
| <br>2 0 1 0 E 0 4 | 378/379 アドオンモード を有効にする                                                                                                                         |   |
| <br>2 0 1 0 E 0 5 | 978/979 アドオンモード を有効にする                                                                                                                         |   |

|                                                                                                          |                                                                           |    |
|----------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------|----|
| <br>2 0 1 0 E 0 7       | 977 アド モード を有効にする                                                         |    |
| <br>2 0 1 0 E 0 6       | 414/419/434/439 アド モード を有効にする                                             |    |
| <br>2 0 1 0 E 0 8       | 491 アド モード を有効にする                                                         |    |
| <br>3 0 5 1 8 2 0 2 1 E | アド モ読み取り繰り返し回数(設定範囲 2~30 回)<br>続けて、「補足 A. 数値バ コード」で 02~30 をスキャンします。       | 10 |
| <br>N 0 2 A 0 0 0 0     | アド モ AIM ID フォーマット 分離<br>例)<br>]E<0 又は 4><デ ータ>]E<1 又は 2>[アド ンデ ータ]       |    |
| <br>N 0 2 A 0 0 0 1     | アド モ AIM ID フォーマット 結合<br>例)<br>]E3<デ ータ+アド ンデ ータ>                         | ■  |
| <br>N 0 2 A 0 0 0 2    | アド モ AIM ID フォーマット 分離転送<br>例)<br>]E<0 又は 4><デ ータ><br>]E<1 又は 2>[アド ンデ ータ] |    |
| <br>1 0 2 0 0 2 1     | UPC-A チェック デジットを送信する                                                      | ■  |
| <br>1 0 2 0 0 2 0     | UPC-A チェック デジットを送信しない                                                     |    |
| <br>1 0 2 0 0 3 1     | UPC-E チェック デジットを送信する                                                      | ■  |
| <br>1 0 2 0 0 3 0     | UPC-E チェック デジットを送信しない                                                     |    |
| <br>1 0 2 0 1 6 1     | UPC-E1 チェック デジットを送信する                                                     | ■  |
| <br>1 0 2 0 1 6 0     | UPC-E1 チェック デジットを送信しない                                                    |    |



|                                                                                                      |                                  |   |
|------------------------------------------------------------------------------------------------------|----------------------------------|---|
| <br>2 0 3 0 1 0 0   | UPC-A フリアンブル 無し                  |   |
| <br>2 0 3 0 1 0 1   | UPC-A フリアンブル システムキャラクタ           | ■ |
| <br>2 0 3 0 1 0 2   | UPC-A フリアンブル システムキャラクタ+カントリーコード  |   |
| <br>2 0 3 0 0 0 0   | UPC-E フリアンブル 無し                  |   |
| <br>2 0 3 0 0 0 1   | UPC-E フリアンブル システムキャラクタ           | ■ |
| <br>2 0 3 0 0 0 2   | UPC-E フリアンブル システムキャラクタ+カントリーコード  |   |
| <br>2 0 3 0 2 0 0  | UPC-E1 フリアンブル 無し                 |   |
| <br>2 0 3 0 2 0 1 | UPC-E1 フリアンブル システムキャラクタ          | ■ |
| <br>2 0 3 0 2 0 2 | UPC-E1 フリアンブル システムキャラクタ+カントリーコード |   |
| <br>1 0 2 0 0 0 1 | UPC-E を UPC-A に変換する              |   |
| <br>1 0 2 0 0 0 0 | UPC-E を UPC-A に変換しない             |   |
| <br>1 0 2 0 1 5 1 | UPC-E1 を UPC-A に変換する             |   |
| <br>1 0 2 0 1 5 0 | UPC-E1 を UPC-A に変換しない            |   |

|                                                                                                     |                                                                                   |   |
|-----------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------|---|
| <br>1 0 2 0 0 1 1  | EAN/JAN 拡張を有効にする                                                                  |   |
| <br>1 0 2 0 0 1 0  | EAN/JAN 拡張を無効にする                                                                  | ■ |
| <br>1 0 2 0 2 4 1  | UCC クーポン拡張を有効にする                                                                  |   |
| <br>1 0 2 0 2 4 0  | UCC クーポン拡張を有効にしない                                                                 | ■ |
| <br>N 0 2 D A 0 0  | クーポルフォーマット : 旧クーポルフォーマットを有効にする<br>UPC-A/GS1-128 と EAN-13/GS1 Databar を読み取ります。     |   |
| <br>N 0 2 D A 0 1  | クーポルフォーマット : 新クーポルフォーマットを有効にする<br>UPC-A/GS1 Databar と EAN-13/GS1 Databar を読み取ります。 | ■ |
| <br>N 0 2 D A 0 2 | クーポルフォーマット : 自動識別クーポルフォーマットを有効にする<br>新・旧クーポルフォーマット両方を読み取ります。                      |   |
| <br>N 0 5 0 9 1  | UPC 縮小クワリティゾーンを有効にする                                                              |   |
| <br>N 0 5 0 9 0  | UPC 縮小クワリティゾーンを無効にする                                                              | ■ |

## 6.2. ｺｰﾄﾞ 128/GS1-128

| ｺｰﾄﾞﾊﾞｰｺｰﾄﾞ                                                                                                           | 説明                                                                                                                    | デﾌｫﾙﾄ |
|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------|
| <br>1 0 0 0 1 0 1                    | ｺｰﾄﾞ 128 を有効にする                                                                                                       | ■     |
| <br>1 0 0 0 1 0 0                    | ｺｰﾄﾞ 128 を無効にする                                                                                                       |       |
| <br>F 1 0 1 0 4 0 5 0 1 3 7 0 0 1 0  | ｺｰﾄﾞ 128 - 1 種類の読取桁数<br>続けて、「補足 A. 数値ﾊﾞｰｺｰﾄﾞ」で 2 桁をｽｷｯﾌﾟします。例えば、<br>14 桁のみを読み取る場合は、「1」「4」をｽｷｯﾌﾟします。                   |       |
| <br>F 2 0 1 0 4 0 5 0 1 3 7 0 0 1 0  | ｺｰﾄﾞ 128 - 2 種類の読取桁数<br>続けて、「補足 A. 数値ﾊﾞｰｺｰﾄﾞ」で 4 桁をｽｷｯﾌﾟします。例えば、<br>2 桁と 14 桁のみを読み取る場合は、「0」「2」「1」「4」をｽｷｯﾌﾟしま<br>す。    |       |
| <br>F 3 0 1 0 4 0 5 0 1 3 7 0 0 1 0  | ｺｰﾄﾞ 128 - 指定範囲内の読取桁数<br>続けて、「補足 A. 数値ﾊﾞｰｺｰﾄﾞ」で 4 桁をｽｷｯﾌﾟします。例えば、<br>4 桁から 14 桁の範囲を読み取る場合は、「0」「4」「1」「4」をｽｷｯ<br>ﾌﾟします。 |       |
| <br>F 0 0 1 0 4 0 5 0 1 3 7 0 0 1 0 | ｺｰﾄﾞ 128 - 任意の読取桁数                                                                                                    | ■     |
| <br>1 0 4 0 3 3 1                  | GS1-128 を有効にする                                                                                                        | ■     |
| <br>1 0 4 0 3 3 0                  | GS1-128 を無効にする                                                                                                        |       |
| <br>1 0 0 0 3 3 1                  | ISBT-128 を有効にする<br>ISBT-128 は、血液ﾊﾞﾝﾄﾞ業界で使用されるｺｰﾄﾞ 128 のﾊﾞﾘｰｼﾞ<br>ｵﾝです。                                                | ■     |
| <br>1 0 0 0 3 3 0                  | ISBT-128 を無効にする<br>ISBT-128 は、血液ﾊﾞﾝﾄﾞ業界で使用されるｺｰﾄﾞ 128 のﾊﾞﾘｰｼﾞ<br>ｵﾝです。                                                |       |
| <br>N 0 2 4 1 0 1                  | ISBT 連結を有効にする                                                                                                         | ■     |
| <br>N 0 2 4 1 0 0                  | ISBT 連結を無効にする                                                                                                         | ■     |
| <br>N 0 2 4 1 0 2                  | ISBT 連結を自動識別にする                                                                                                       |       |

| コマンドバーコード                                                                                            | 説明                                                                                           | デフォルト |
|------------------------------------------------------------------------------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------|-------|
| <br>N 0 2 4 2 1     | ISBT テーブルリンクを有効にする<br>ISBT テーブルに含まれるパターのみを連結します。                                             | ■     |
| <br>N 0 2 4 2 0     | ISBT テーブルリンクを無効にする                                                                           |       |
| <br>N 1 0 D F 2     | ISBT 連結の読取繰り返し回数(02~20)<br>続けて、「補足 A. 数値バーコード」で 2 桁を設定します。例えば、<br>10 回に設定する場合は、「1」「0」を設定します。 | 10    |
| <br>N 0 4 E 6 0     | コード 128<FNC4>に従う                                                                             | ■     |
| <br>N 0 4 E 6 1     | コード 128<FNC4>を無視する<br>コード 128 に埋め込まれた<FNC4>を取り除く場合は、「無視する」に設定します。<FNC4>以外のデータは、通常通り処理されます。   |       |
| <br>N 0 2 E F 0 0  | コード 128 - セキュリティレベル 0<br>ほとんどの規格内コードを読み取るのに十分な読取精度を確保できます。                                   |       |
| <br>N 0 2 E F 0 1 | コード 128 - セキュリティレベル 1<br>適切な読取速度を保ちながら、ほとんどの読み取りミスを除去します。                                    | ■     |
| <br>N 0 2 E F 0 2 | コード 128 - セキュリティレベル 2<br>レベル 1 でミスを除去できない場合に適用します。                                           |       |
| <br>N 0 2 E F 0 3 | コード 128 - セキュリティレベル 3<br>レベル 2 でミスを除去できない場合に適用する最上位のセキュリティレベルです。                             |       |
| <br>N 0 4 B 8 1   | コード 128 縮小ウェイトゲートを有効にする                                                                      |       |
| <br>N 0 4 B 8 0   | コード 128 縮小ウェイトゲートを無効にする                                                                      | ■     |

## 6.3. コード 39

| コマンドバーコード                                                                                                              | 説明                                                                                                              | デフォルト |
|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------|
| <br>1 0 0 0 0 0 1                     | コード 39 を有効にする                                                                                                   | ■     |
| <br>1 0 0 0 0 0 0                     | コード 39 を無効にする                                                                                                   |       |
| <br>F 1 0 1 0 0 0 1 0 1 3 7 0 0 0 0 0 | コード 39 - 1 種類の読取桁数<br>続けて、「補足 A. 数値バーコード」で 2 桁をスキャンします。例えば、<br>14 桁のみを読み取る場合は、「1」「4」をスキャンします。                   |       |
| <br>F 2 0 1 0 0 0 1 0 1 3 7 0 0 0 0 0 | コード 39 - 2 種類の読取桁数<br>続けて、「補足 A. 数値バーコード」で 4 桁をスキャンします。例えば、<br>2 桁と 14 桁のみを読み取る場合は、「0」「2」「1」「4」をスキャンしま<br>す。    |       |
| <br>F 3 0 1 0 0 0 1 0 1 3 7 0 0 0 0 0 | コード 39 - 指定範囲内の読取桁数<br>続けて、「補足 A. 数値バーコード」で 4 桁をスキャンします。例えば、<br>4 桁から 14 桁の範囲を読み取る場合は、「0」「4」「1」「4」をスキャ<br>ンします。 | 02~55 |
| <br>F 0 0 1 0 0 0 1 0 1 3 7 0 0 0 0 0 | コード 39 - 任意の読取桁数                                                                                                |       |
| <br>1 0 2 0 0 4 1                   | チェックサムを有効にする                                                                                                    |       |
| <br>1 0 2 0 0 4 0                   | チェックサムを無効にする                                                                                                    | ■     |
| <br>1 0 2 0 2 4 1                   | チェックサムを転送する                                                                                                     |       |
| <br>1 0 2 0 2 4 0                   | チェックサムを転送しない                                                                                                    | ■     |
| <br>1 0 2 0 1 1 1                   | フルアスキーを有効にする                                                                                                    |       |
| <br>1 0 2 0 1 1 0                   | フルアスキーを無効にする                                                                                                    | ■     |

| コマンドバーコード                                                                                          | 説明                                                              | デフォルト |
|----------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------|-------|
| <br>N 0 2 E E 0 0 | コード 39 - セキュリティレベル 0<br>ほとんどの規格内コードを読み取るのに十分な読取精度を確保できます。       |       |
| <br>N 0 2 E E 0 1 | コード 39 - セキュリティレベル 1<br>適切な読取速度を保ちながら、ほとんどの読み取りミスを除去します。        | ■     |
| <br>N 0 2 E E 0 2 | コード 39 - セキュリティレベル 2<br>レベル 1 でミスを除去できない場合に適用します。               |       |
| <br>N 0 2 E E 0 3 | コード 39 - セキュリティレベル 3<br>レベル 2 でミスを除去できない場合に適用する最上位のセキュリティレベルです。 |       |
| <br>N 0 4 B 9 1   | コード 39 縮小ワイドビットを有効にする                                           |       |
| <br>N 0 4 B 9 0   | コード 39 縮小ワイドビットを無効にする                                           | ■     |

## 6.4. コード 93

| コマンドバーコード                                                                                                                | 説明                                                                                                      | デフォルト |
|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------|
| <br>1 0 0 0 1 1 1                     | コード 93 を有効にする                                                                                           | ■     |
| <br>1 0 0 0 1 1 0                     | コード 93 を無効にする                                                                                           |       |
| <br>F 1 0 1 0 A 0 B 0 2 3 7 0 0 0 1 1 | コード 93 - 1 種類の読取桁数<br>続けて、「補足 A. 数値バーコード」で 2 桁をスキャンします。例えば、14 桁のみを読み取る場合は、「1」「4」をスキャンします。               |       |
| <br>F 2 0 1 0 A 0 B 0 2 3 7 0 0 0 1 1 | コード 93 - 2 種類の読取桁数<br>続けて、「補足 A. 数値バーコード」で 4 桁をスキャンします。例えば、2 桁と 14 桁のみを読み取る場合は、「0」「2」「1」「4」をスキャンします。    |       |
| <br>F 3 0 1 0 A 0 B 0 2 3 7 0 0 0 1 1 | コード 93 - 指定範囲内の読取桁数<br>続けて、「補足 A. 数値バーコード」で 4 桁をスキャンします。例えば、4 桁から 14 桁の範囲を読み取る場合は、「0」「4」「1」「4」をスキャンします。 | 04~55 |
| <br>F 0 0 1 0 A 0 B 0 2 3 7 0 0 0 1 1 | コード 93 - 任意の読取桁数                                                                                        |       |

## 6.5. コード 11

| コードバールコード                                                                                                            | 説明                                                                                                               | デフォルト |
|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------|
| <br>1 0 0 0 1 2 1                   | コード 11 を有効にする                                                                                                    | ■     |
| <br>1 0 0 0 1 2 0                   | コード 11 を無効にする                                                                                                    |       |
| <br>F 1 0 1 0 C 0 0 1 3 7 0 0 0 1 2 | コード 11 - 1 種類の読取桁数<br>続けて、「補足 A. 数値バールコード」で 2 桁をスキャンします。例えば、<br>14 桁のみを読み取る場合は、「1」「4」をスキャンします。                   |       |
| <br>F 2 0 1 0 C 0 0 1 3 7 0 0 0 1 2 | コード 11 - 2 種類の読取桁数<br>続けて、「補足 A. 数値バールコード」で 4 桁をスキャンします。例えば、<br>2 桁と 14 桁のみを読み取る場合は、「0」「2」「1」「4」をスキャンしま<br>す。    |       |
| <br>F 3 0 1 0 C 0 0 1 3 7 0 0 0 1 2 | コード 11 - 指定範囲内の読取桁数<br>続けて、「補足 A. 数値バールコード」で 4 桁をスキャンします。例えば、<br>4 桁から 14 桁の範囲を読み取る場合は、「0」「4」「1」「4」をスキャ<br>ンします。 | 04~55 |
| <br>F 0 0 1 0 C 0 0 1 3 7 0 0 0 1 2 | コード 11 - 任意の読取桁数                                                                                                 |       |
| <br>2 0 5 1 2 0 0                 | チェックビットを無効にする                                                                                                    | ■     |
| <br>2 0 5 1 2 0 1                 | 1 つのチェックビットを有効にする                                                                                                |       |
| <br>2 0 5 1 2 0 2                 | 2 つのチェックビットを有効にする                                                                                                |       |
| <br>1 0 2 0 1 4 1                 | チェックビットを転送する                                                                                                     |       |
| <br>1 0 2 0 1 4 0                 | チェックビットを転送しない                                                                                                    | ■     |

## 6.6. インターリーブド 2 オフ 5(ITF)

| コマンドバーコード                                                                                                              | 説明                                                                                                           | デフォルト |
|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------|
| <br>1 0 0 0 0 6 1                     | ITF を有効にする                                                                                                   | ■     |
| <br>1 0 0 0 0 6 0                     | ITF を無効にする                                                                                                   |       |
| <br>F 1 0 1 0 8 0 9 0 2 3 7 0 0 0 0 6 | ITF - 1 種類の読取桁数<br>続けて、「補足 A. 数値バーコード」で 2 桁をスキャンします。例えば、<br>14 桁のみを読み取る場合は、「1」「4」をスキャンします。                   | 14    |
| <br>F 2 0 1 0 8 0 9 0 2 3 7 0 0 0 0 6 | ITF - 2 種類の読取桁数<br>続けて、「補足 A. 数値バーコード」で 4 桁をスキャンします。例えば、<br>2 桁と 14 桁のみを読み取る場合は、「0」「2」「1」「4」をスキャンしま<br>す。    |       |
| <br>F 3 0 1 0 8 0 9 0 2 3 7 0 0 0 0 6 | ITF - 指定範囲内の読取桁数<br>続けて、「補足 A. 数値バーコード」で 4 桁をスキャンします。例えば、<br>4 桁から 14 桁の範囲を読み取る場合は、「0」「4」「1」「4」をスキャ<br>ンします。 |       |
| <br>F 0 0 1 0 8 0 9 0 2 3 7 0 0 0 0 6 | ITF - 任意の読取桁数                                                                                                |       |
| <br>2 0 5 1 E 0 0                   | チェックジットを無効にする                                                                                                | ■     |
| <br>2 0 5 1 E 0 1                   | USS チェックジットを有効にする                                                                                            |       |
| <br>2 0 5 1 E 0 2                   | OPCC チェックジットを有効にする                                                                                           |       |
| <br>1 0 2 0 2 1 1                   | チェックジットを転送する                                                                                                 |       |
| <br>1 0 2 0 2 1 0                   | チェックジットを転送しない                                                                                                | ■     |
| <br>1 0 2 0 2 0 1                   | ITF を EAN-13 に変換する                                                                                           |       |
| <br>1 0 2 0 2 0 0                   | ITF を EAN-13 に変換する                                                                                           | ■     |



| コマンドバーコード                                                                                          | 説明                                                           | デフォルト |
|----------------------------------------------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------|-------|
| <br>N 0 4 6 1 0 0 | ITF - セキュリティレベル 0<br>ほとんどの規格内コードを読み取るのに十分な読取精度を確保できます。       |       |
| <br>N 0 4 6 1 0 1 | ITF - セキュリティレベル 1<br>適切な読取速度を保ちながら、ほとんどの読み取りミスを除去します。        | ■     |
| <br>N 0 4 6 1 0 2 | ITF - セキュリティレベル 2<br>レベル 1 でミスを除去できない場合に適用します。               |       |
| <br>N 0 4 6 1 0 3 | ITF - セキュリティレベル 3<br>レベル 2 でミスを除去できない場合に適用する最上位のセキュリティレベルです。 |       |
| <br>N 0 4 B A 1   | ITF 縮小クワイエットゾーンを有効にする                                        |       |
| <br>N 0 4 B A 0   | ITF 縮小クワイエットゾーンを無効にする                                        | ■     |

## 6.7. ディスクリット 2 オフ 5 (DTF)

| コマンドバーコード                                                                                                                | 説明                                                                                               | デフォルト |
|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------|-------|
| <br>1 0 0 0 0 5 1                     | DTF を有効にする                                                                                       | ■     |
| <br>1 0 0 0 0 5 0                     | DTF を無効にする                                                                                       |       |
| <br>F 1 0 1 0 6 0 7 0 2 3 7 0 0 0 0 5 | DTF - 1 種類の読取桁数<br>続けて、「補足 A. 数値バーコード」で 2 桁を設定します。例えば、14 桁のみを読み取る場合は、「1」「4」を設定します。               | 12    |
| <br>F 2 0 1 0 6 0 7 0 2 3 7 0 0 0 0 5 | DTF - 2 種類の読取桁数<br>続けて、「補足 A. 数値バーコード」で 4 桁を設定します。例えば、2 桁と 14 桁のみを読み取る場合は、「0」「2」「1」「4」を設定します。    |       |
| <br>F 3 0 1 0 6 0 7 0 2 3 7 0 0 0 0 5 | DTF - 指定範囲内の読取桁数<br>続けて、「補足 A. 数値バーコード」で 4 桁を設定します。例えば、4 桁から 14 桁の範囲を読み取る場合は、「0」「4」「1」「4」を設定します。 |       |
| <br>F 0 0 1 0 6 0 7 0 2 3 7 0 0 0 0 5 | DTF - 任意の読取桁数                                                                                    |       |

## 6.8. コードバー(NW7)

| コードバー                                                                                                                  | 説明                                                                                                           | デフォルト |
|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------|
| <br>1 0 0 0 0 7 1                     | NW7 を有効にする                                                                                                   | ■     |
| <br>1 0 0 0 0 7 0                     | NW7 を無効にする                                                                                                   |       |
| <br>F 1 0 1 0 2 0 3 0 2 3 7 0 0 0 0 7 | NW7 - 1 種類の読取桁数<br>続けて、「補足 A. 数値バーコード」で 2 桁をスキャンします。例えば、<br>14 桁のみを読み取る場合は、「1」「4」をスキャンします。                   |       |
| <br>F 2 0 1 0 2 0 3 0 2 3 7 0 0 0 0 7 | NW7 - 2 種類の読取桁数<br>続けて、「補足 A. 数値バーコード」で 4 桁をスキャンします。例えば、<br>2 桁と 14 桁のみを読み取る場合は、「0」「2」「1」「4」をスキャンしま<br>す。    |       |
| <br>F 3 0 1 0 2 0 3 0 2 3 7 0 0 0 0 7 | NW7 - 指定範囲内の読取桁数<br>続けて、「補足 A. 数値バーコード」で 4 桁をスキャンします。例えば、<br>4 桁から 14 桁の範囲を読み取る場合は、「0」「4」「1」「4」をスキャ<br>ンします。 | 05~55 |
| <br>F 0 0 1 0 2 0 3 0 2 3 7 0 0 0 0 7 | NW7 - 任意の読取桁数                                                                                                |       |
| <br>1 0 2 0 0 5 1                   | CLSI 編集を有効にする                                                                                                |       |
| <br>1 0 2 0 0 5 0                   | CLSI 編集を無効にする                                                                                                | ■     |
| <br>1 0 2 0 0 6 1                   | スタート/ストップ キャラクタを転送しない                                                                                        |       |
| <br>1 0 2 0 0 6 0                   | スタート/ストップ キャラクタを転送する                                                                                         | ■     |
| <br>N 0 3 5 7 1                     | スタート/ストップ キャラクタを小文字転送する                                                                                      |       |
| <br>N 0 3 5 7 0                     | スタート/ストップ キャラクタを大文字転送する                                                                                      | ■     |

## 6.9. MSI

| コマンドバーコード                                                                                                              | 説明                                                                                                           | デフォルト |
|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------|
| <br>1 0 0 0 1 4 1                     | MSI を有効にする                                                                                                   | ■     |
| <br>1 0 0 0 1 4 0                     | MSI を無効にする                                                                                                   |       |
| <br>F 1 0 1 0 F 1 0 0 1 3 7 0 0 0 1 4 | MSI - 1 種類の読取桁数<br>続けて、「補足 A. 数値バーコード」で 2 桁をスキャンします。例えば、<br>14 桁のみを読み取る場合は、「1」「4」をスキャンします。                   |       |
| <br>F 2 0 1 0 F 1 0 0 1 3 7 0 0 0 1 4 | MSI - 2 種類の読取桁数<br>続けて、「補足 A. 数値バーコード」で 4 桁をスキャンします。例えば、<br>2 桁と 14 桁のみを読み取る場合は、「0」「2」「1」「4」をスキャンしま<br>す。    |       |
| <br>F 3 0 1 0 F 1 0 0 1 3 7 0 0 0 1 4 | MSI - 指定範囲内の読取桁数<br>続けて、「補足 A. 数値バーコード」で 4 桁をスキャンします。例えば、<br>4 桁から 14 桁の範囲を読み取る場合は、「0」「4」「1」「4」をスキャ<br>ンします。 | 04~55 |
| <br>F 0 0 1 0 F 1 0 0 1 3 7 0 0 0 1 4 | MSI - 任意の読取桁数                                                                                                |       |
| <br>1 0 2 0 1 2 0                   | 1 つのチェックディジットを有効にする                                                                                          | ■     |
| <br>1 0 2 0 1 2 1                   | 2 つのチェックディジットを有効にする                                                                                          |       |
| <br>1 0 2 0 2 3 0                   | MOD11/MOD10 チェックディジットアルゴリズムを採用する                                                                             |       |
| <br>1 0 2 0 2 3 1                   | MOD10/MOD10 チェックディジットアルゴリズムを採用する                                                                             | ■     |
| <br>1 0 2 0 1 3 1                   | チェックディジットを転送する                                                                                               |       |
| <br>1 0 2 0 1 3 0                   | チェックディジットを転送しない                                                                                              | ■     |
| <br>N 0 5 7 0 0                     | MSI 縮小ワイドゾーンを有効にする                                                                                           |       |
| <br>N 0 5 7 0 1                     | MSI 縮小ワイドゾーンを無効にする                                                                                           | ■     |

## 6.10. マトリクス 2D 5

| コマンドバーコード                                                                                                     | 説明                                                                                                                  | デフォルト |
|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------|
| <br>N 0 2 6 A 1              | マトリクス 2D 5 を有効にする                                                                                                   |       |
| <br>N 0 2 6 A 0              | マトリクス 2D 5 を無効にする                                                                                                   | ■     |
| <br>N 2 1 2 6 B 2 6 C 2 6 A  | マトリクス 2D 5 - 1 種類の読取桁数<br>続けて、「補足 A. 数値バーコード」で 2 桁をスキャンします。例えば、<br>14 桁のみを読み取る場合は、「1」「4」をスキャンします。                   | 14    |
| <br>N 2 2 2 6 B 2 6 C 2 6 A  | マトリクス 2D 5 - 2 種類の読取桁数<br>続けて、「補足 A. 数値バーコード」で 4 桁をスキャンします。例えば、<br>2 桁と 14 桁のみを読み取る場合は、「0」「2」「1」「4」をスキャンしま<br>す。    |       |
| <br>N 2 3 2 6 B 2 6 C 2 6 A  | マトリクス 2D 5 - 指定範囲内の読取桁数<br>続けて、「補足 A. 数値バーコード」で 4 桁をスキャンします。例えば、<br>4 桁から 14 桁の範囲を読み取る場合は、「0」「4」「1」「4」をスキャ<br>ンします。 |       |
| <br>N 2 0 2 6 B 2 6 C 2 6 A | マトリクス 2D 5 - 任意の読取桁数                                                                                                |       |
| <br>N 0 2 6 E 1            | チェックサムを有効にする                                                                                                        | ■     |
| <br>N 0 2 6 E 0            | チェックサムを無効にする                                                                                                        |       |
| <br>N 0 2 6 F 1            | チェックサムを転送する                                                                                                         |       |
| <br>N 0 2 6 F 0            | チェックサムを転送しない                                                                                                        | ■     |

## 6.11. GS1 Databar

| コマンド バールコード                                                                                          | 説明                                    | デフォルト |
|------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------|-------|
| <br>1 0 0 0 3 5 1   | GS1 Databar-14 を有効にする                 | ■     |
| <br>1 0 0 0 3 5 0   | GS1 Databar-14 を無効にする                 |       |
| <br>1 0 0 0 3 6 1   | GS1 Databar Limited を有効にする            | ■     |
| <br>1 0 0 0 3 6 0   | GS1 Databar Limited を無効にする            |       |
| <br>1 0 0 0 3 7 1   | GS1 Databar Expanded を有効にする           | ■     |
| <br>1 0 0 0 3 7 0   | GS1 Databar Expanded を無効にする           |       |
| <br>1 0 2 0 3 4 1 | GS1 Databar から UPC/EAN/JAN への変換を有効にする |       |
| <br>1 0 2 0 3 4 0 | GS1 Databar から UPC/EAN/JAN への変換を無効にする | ■     |
| <br>1 0 2 0 3 4 0 | GS1 Databar から UPC/EAN/JAN への変換を無効にする | ■     |

| コマンドバーコード                                                                                            | 説明                                                                                                                               | デフォルト |
|------------------------------------------------------------------------------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------|
| <br>N 0 2 D 8 0 1   | GS1 Databar Limited - マージチェックレベル 1<br>元の GS1 標準に適合しますが、「9」および「7」で始まる一部の UPC シンボルのスキャンで、Databar Limited コードの読み取りに誤りが発生する可能性があります。 |       |
| <br>N 0 2 D 8 0 2   | GS1 Databar Limited - マージチェックレベル 2<br>自動的にコードの危険性を検出します。一部の UPC シンボルのスキャンで、Databar Limited コードの読み取りに誤りが発生する可能性があります。             |       |
| <br>N 0 2 D 8 0 3   | GS1 Databar Limited - マージチェックレベル 3<br>5 回の末尾マージチェックを必要とする新たに提案された GS1 標準を反映しています。                                                | ■     |
| <br>N 0 2 D 8 0 4   | GS1 Databar Limited - マージチェックレベル 4<br>GS1 規格よりも厳しい条件での読み取りを行い、5 倍の先頭及び末尾マージが必要とされます。                                             |       |
| <br>N 0 6 A A 0 0   | GS1 Databar - チェックレベル 0<br>ほとんどの規格内コードを読み取るのに十分な読取精度を確保できます。                                                                     |       |
| <br>N 0 6 A A 0 1  | GS1 Databar - チェックレベル 1<br>適切な読取速度を保ちながら、ほとんどの読み取りミスを除去します。                                                                      | ■     |
| <br>N 0 6 A A 0 2 | GS1 Databar - チェックレベル 2<br>レベル 1 でミスを除去できない場合に適用します。                                                                             |       |
| <br>N 0 6 A A 0 3 | GS1 Databar - チェックレベル 3<br>レベル 2 でミスを除去できない場合に適用する最上位のチェックレベルです。                                                                 |       |

## 6.12. 1D コード 読み取りの特殊設定

### 反転 1D コード の読み取り

| コマンド バージョン                                                                                         | 説明                       | デフォルト |
|----------------------------------------------------------------------------------------------------|--------------------------|-------|
| <br>N 0 2 4 A 0 0 | 標準コード のみを読み取りする          | ■     |
| <br>N 0 2 4 A 0 1 | 反転コード のみを読み取りする          |       |
| <br>N 0 2 4 A 0 2 | 標準と反転コード を自動識別して両方読み取りする |       |

### リダクタ ソーレベル

| コマンド バージョン                                                                                           | 説明                                                                                                                              | デフォルト |
|------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------|
| <br>2 0 5 1 5 0 1  | リダクタ ソーレベル 1<br>下記のコード タイプ を 2 回読み取る必要があります。<br>・コード バージョン 8 桁以下<br>・MSI 4 桁以下<br>・DTF 8 桁以下<br>・ITF 8 桁以下                      | ■     |
| <br>2 0 5 1 5 0 2 | リダクタ ソーレベル 2<br>全てのコード タイプ を 2 回読み取る必要があります。                                                                                    |       |
| <br>2 0 5 1 5 0 3 | リダクタ ソーレベル 3<br>下記のコード タイプ を 3 回読み取る必要があります。それ以外のコード タイプ は 2 回です。<br>・コード バージョン 8 桁以下<br>・MSI 4 桁以下<br>・DTF 8 桁以下<br>・ITF 8 桁以下 |       |
| <br>2 0 5 1 5 0 4 | リダクタ ソーレベル 4<br>全てのコード タイプ を 3 回読み取る必要があります。                                                                                    |       |

### キャラクタ間ギャップ サイズ

| コマンド バージョン                                                                                           | 説明                | デフォルト |
|------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------|-------|
| <br>2 0 5 2 B 0 6 | 通常のキャラクタ間ギャップ サイズ | ■     |
| <br>2 0 5 2 B 0 A | 大きいキャラクタ間ギャップ サイズ |       |

## セキュリティレベル

コード 128, UPC/EAN/JAN, コード 93 を含むデッドバースコードに対して、4 種類のセキュリティレベルを設定できます。コードの品質が低い場合は、より高いセキュリティレベルが必要になります。

| コマンドバースコード                                                                                         | 説明                                                     | デフォルト |
|----------------------------------------------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------|-------|
| <br>2 0 5 1 1 0 0 | セキュリティレベル 0<br>ほとんどの規格内コードを読み取るのに十分な読取精度を確保できます。       |       |
| <br>2 0 5 1 1 0 1 | セキュリティレベル 1<br>適切な読取速度を保ちながら、ほとんどの読み取りミスを除去します。        | ■     |
| <br>2 0 5 1 1 0 2 | セキュリティレベル 2<br>レベル 1 でミスを除去できない場合に適用します。               |       |
| <br>2 0 5 1 1 0 3 | セキュリティレベル 3<br>レベル 2 でミスを除去できない場合に適用する最上位のセキュリティレベルです。 |       |

## 1D クワイエットゾーンレベル

縮小クワイエットゾーンによって有効になるシボシステムに適用されます。レベルを高くすると、読取時間が長くなり、読取ミスの可能性が高くなるので、高いクワイエットゾーンレベルが必要なシボシステムのみにも有効にして、その他のシボシステムでは、無効にすることをお勧めします。

| コマンドバースコード                                                                                           | 説明                                                    | デフォルト |
|------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------|-------|
| <br>N 0 5 0 8 0 0 | 1D クワイエットゾーンレベル 0<br>クワイエットゾーンについて、通常通りに動作します。        |       |
| <br>N 0 5 0 8 0 1 | 1D クワイエットゾーンレベル 1<br>クワイエットゾーンについて、より厳格に動作します。        | ■     |
| <br>N 0 5 0 8 0 2 | 1D クワイエットゾーンレベル 2<br>読み取るコードの末尾にクワイエットゾーンを必要とします。     |       |
| <br>N 0 5 0 8 0 3 | 1D クワイエットゾーンレベル 3<br>クワイエットゾーン又はコードの終わりに関する全てを読み取ります。 |       |



## 7. Composite コード 読み取りに関するパラメータ

### 7.1. Composite CC-C

| コマンド バージョン                                                                                         | 説明          | デフォルト |
|----------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------|-------|
| <br>1 0 0 0 4 0 1 | CC-C を有効にする |       |
| <br>1 0 0 0 4 0 0 | CC-C を無効にする | ■     |

### 7.2. Composite CC-A/B

| コマンド バージョン                                                                                         | 説明            | デフォルト |
|----------------------------------------------------------------------------------------------------|---------------|-------|
| <br>1 0 0 0 4 1 1 | CC-A/B を有効にする |       |
| <br>1 0 0 0 4 1 0 | CC-A/B を無効にする | ■     |

### 7.3. Composite TLC39

| コマンド バージョン                                                                                           | 説明           | デフォルト |
|------------------------------------------------------------------------------------------------------|--------------|-------|
| <br>1 0 0 0 4 2 1 | TLC39 を有効にする |       |
| <br>1 0 0 0 4 2 0 | TLC39 を無効にする | ■     |

### 7.4. Composite 反転

この機能は、Databar と CC-A/B を組み合わせた反転 Composite のみをサポートします。

| コマンド バージョン                                                                                           | 説明   | デフォルト |
|------------------------------------------------------------------------------------------------------|------|-------|
| <br>N 0 4 5 9 0 0 | 標準のみ |       |
| <br>N 0 4 5 9 0 1 | 反転のみ | ■     |

## 7.5. UPC Composite モード

| コマンドバーコード                                                                         | 説明                                                                                          | デフォルト |
|-----------------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------|-------|
|  | UPC をリッパしない<br>2D シンボルが検出されたかどうかに関係なく、UPC コードを転送します。                                        |       |
|  | UPC を常にリッパする<br>UPC コードと 2D コードをセットにして転送します。2D コードが存在しない場合は、コードデータを転送しません。                  |       |
|  | UPC Composite を自動識別する<br>2D コードが存在する場合は、UPC コードと 2D コードをセットにして転送し、存在しない場合は、UPC コードのみを転送します。 | ■     |

## 7.6. Composite ビープモード

| コマンドバーコード                                                                           | 説明                  | デフォルト |
|-------------------------------------------------------------------------------------|---------------------|-------|
|    | 両方読み取り後、1 回ビープを鳴らす  |       |
|   | コードを読み取るごとに、ビープを鳴らす | ■     |
|  | 両方読み取り後、2 回ビープを鳴らす  |       |

## 7.7. UCC/EAN Composite の GS-128 識別子モード

| コマンドバーコード                                                                           | 説明                   | デフォルト |
|-------------------------------------------------------------------------------------|----------------------|-------|
|  | GS1-128 識別子モードを有効にする |       |
|  | GS1-128 識別子モードを無効にする | ■     |

## 8. 2D コード 読み取りに関するパラメータ

### 8.1. PDF417

| コマンドバーコード                                                                                          | 説明            | デフォルト |
|----------------------------------------------------------------------------------------------------|---------------|-------|
| <br>1 0 0 0 1 6 1 | PDF417 を有効にする | ■     |
| <br>1 0 0 0 1 6 0 | PDF417 を無効にする |       |

### 8.2. MicroPDF417

| コマンドバーコード                                                                                            | 説明                     | デフォルト |
|------------------------------------------------------------------------------------------------------|------------------------|-------|
| <br>1 0 0 0 3 4 1   | PDF417 を有効にする          |       |
| <br>1 0 0 0 3 4 0   | PDF417 を無効にする          | ■     |
| <br>1 0 M 0 1 7 1 | コード 128 エンコーディングを有効にする |       |
| <br>1 0 M 0 1 7 0 | コード 128 エンコーディングを無効にする | ■     |

### 8.3. Maxicode

| コマンドバーコード                                                                                          | 説明              | デフォルト |
|----------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------------|-------|
| <br>N 0 1 2 6 1 | Maxicode を有効にする |       |
| <br>N 0 1 2 6 0 | Maxicode を無効にする | ■     |

## 8.4. Data Matrix

| コマンド バーコード                                                                                       | 説明                     | デフォルト |
|--------------------------------------------------------------------------------------------------|------------------------|-------|
| <br>N 0 1 2 4 1 | Data Matrix を有効にする     | ■     |
| <br>N 0 1 2 4 0 | Data Matrix を無効にする     |       |
| <br>N 0 5 3 8 1 | GS1 Data Matrix を有効にする |       |
| <br>N 0 5 3 8 0 | GS1 Data Matrix を無効にする | ■     |

### Data Matrix 反転読み取り

| コマンド バーコード                                                                                           | 説明   | デフォルト |
|------------------------------------------------------------------------------------------------------|------|-------|
| <br>N 0 2 4 C 0 0  | 標準のみ |       |
| <br>N 0 2 4 C 0 1 | 反転のみ |       |
| <br>N 0 2 4 C 0 2 | 自動識別 | ■     |

### Data Matrix ミラーイメージ 読み取り

| コマンド バーコード                                                                                           | 説明     | デフォルト |
|------------------------------------------------------------------------------------------------------|--------|-------|
| <br>N 0 2 1 9 0 0 | 読み取らない |       |
| <br>N 0 2 1 9 0 1 | 常時読み取る |       |
| <br>N 0 2 1 9 0 2 | 自動識別   | ■     |

## 8.5. QR コード

| コマンドバーコード                                                                                         | 説明                 | デフォルト |
|---------------------------------------------------------------------------------------------------|--------------------|-------|
| <br>N 0 1 2 5 1  | QR コード を有効にする      | ■     |
| <br>N 0 1 2 5 0  | QR コード を無効にする      |       |
| <br>N 0 5 3 F 1  | GS1 QR コード を有効にする  |       |
| <br>N 0 5 3 F 0  | GS1 QR コード を無効にする  | ■     |
| <br>N 0 2 3 D 1  | MicroQR コード を有効にする | ■     |
| <br>N 0 2 3 D 0 | MicroQR コード を無効にする |       |

## 8.5. Aztec

| コマンドバーコード                                                                                          | 説明           | デフォルト |
|----------------------------------------------------------------------------------------------------|--------------|-------|
| <br>N 0 2 3 E 1 | Aztec を有効にする | ■     |
| <br>N 0 2 3 E 0 | Aztec を無効にする |       |

## Aztec 反転読み取り

| コマンドバーコード                                                                                            | 説明   | デフォルト |
|------------------------------------------------------------------------------------------------------|------|-------|
| <br>N 0 2 4 D 0 0 | 標準のみ |       |
| <br>N 0 2 4 D 0 1 | 反転のみ |       |
| <br>N 0 2 4 D 0 2 | 自動識別 | ■     |

## 9. 郵便コード 読み取りに関するパラメータ

### 9.1. US Postnet

| コマンドバーコード                                                                                          | 説明                | デフォルト |
|----------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------|-------|
| <br>1 0 0 0 2 6 1 | US Postnet を有効にする |       |
| <br>1 0 0 0 2 6 0 | US Postnet を無効にする | ■     |

### 9.2. US Planet

| コマンドバーコード                                                                                            | 説明               | デフォルト |
|------------------------------------------------------------------------------------------------------|------------------|-------|
| <br>1 0 0 0 2 7 1   | US Planet を有効にする |       |
| <br>1 0 0 0 2 7 0   | US Planet を無効にする | ■     |
| <br>1 0 2 0 2 5 1 | チェックビットを転送する     | ■     |
| <br>1 0 2 0 2 5 0 | チェックビットを転送しない    |       |

### 9.3. 日本郵便コード (カスタムバーコード)

| コマンドバーコード                                                                                          | 説明             | デフォルト |
|----------------------------------------------------------------------------------------------------|----------------|-------|
| <br>N 0 1 2 2 1 | 日本郵便コード を有効にする |       |
| <br>N 0 1 2 2 0 | 日本郵便コード を無効にする | ■     |

## 10.コード ID 送信

コード ID は、下記のように、プレフィックスとデータの間には送信されます。

<プレフィックス><コード ID><データ><サフィックス 1><サフィックス 2>

| コマンドバーコード                                                                                          | 説明               | デフォルト |
|----------------------------------------------------------------------------------------------------|------------------|-------|
| <br>2 0 5 1 7 0 2 | 既定コード ID を送信する   |       |
| <br>2 0 5 1 7 0 1 | AIM コード ID を送信する |       |
| <br>2 0 5 1 7 0 0 | コード ID を送信しない    | ■     |

| 既定コード ID 表   |                      |              |                                  |
|--------------|----------------------|--------------|----------------------------------|
| コード ID キャラクタ | コード タイプ              | コード ID キャラクタ | コード タイプ                          |
| A            | UPC/EAN/JAN          | B            | コード 39, コード 32                   |
| C            | コード バー               | D            | コード 128                          |
| E            | コード 93               | F            | インターリーブド 2 オフ 5                  |
| G            | ディスプレイ 2 オフ 5 (IATA) | H            | コード 11                           |
| J            | MSI                  | K            | GS1-128                          |
| L            | Bookland EAN         | M            | Trioptic 39                      |
| N            | Coupon Code          | R            | GS1 Databar                      |
| T            | UCC Composite, TLC39 | X            | PDF417, MacroPDF417, MicroPDF417 |
| P00          | Data Matrix          | P01          | QR コード                           |
| P02          | Maxicode             | P03          | US Postnet                       |
| P04          | US Planet            | P05          | 日本郵便コード                          |
| P06          | UK Postal            | P08          | Dutch Postal                     |
| P09          | Australian Postal    |              |                                  |

| AIM コード ID 表                 |            |                           |
|------------------------------|------------|---------------------------|
| コードタイプ                       | AIM コード ID |                           |
|                              | ID         | モディファイア(m)                |
| コードバール(NW7)                  | ]Fm        | 0-1                       |
| コード 11                       | ]H3        |                           |
| コード 128                      | ]Cm        | 0, 1, 2, 4                |
| コード 32 Pharmaceutical(PARAF) | ]X0        |                           |
| コード 39(サホートフルアスキーモード)        | ]Am        | 0, 1, 3, 4, 5, 7          |
| TLC39(TCIF Liked コード 39)     | ]L2        |                           |
| コード 93(93i)                  | ]Gm        | 0-9, A-Z, a-m             |
| EAN/JAN                      | ]Em        | 0, 1, 3, 4                |
| EAN-13(Bookland EAN 含む)      | ]E0        |                           |
| EAN-13 アドオン                  | ]E3        |                           |
| EAN-13 拡張クーポンコード             | ]E3        |                           |
| EAN-8                        | ]E4        |                           |
| EAN-8 アドオン                   | ]E3        |                           |
| GS1                          |            |                           |
| GS1 Databar                  | ]em        | 0                         |
| GS1 Databar Limited          | ]em        |                           |
| GS1 Databar Expanded         | ]em        |                           |
| GS1-128                      | ]C1        |                           |
| 2 オフ 5                       |            |                           |
| China Post(Hong Kong 2 オフ 5) | ]X0        |                           |
| インターリーブド 2 オフ 5              | ]Im        | 0, 1, 3                   |
| マトリクス 2 オフ 5                 | ]X0        |                           |
| NEC 2 オフ 5                   | ]X0        |                           |
| ストレート 2 オフ 5 IATA            | ]Rm        | 0, 1, 3                   |
| インターストリアル 2 オフ 5             | ]S0        |                           |
| MSI                          | ]Mm        |                           |
| Telepen                      | ]Bm        |                           |
| UPC                          |            | 0, 1, 2, 3, 8, 9, A, B, C |
| UPC-A                        | ]E0        |                           |
| UPC-A アドオン                   | ]E3        |                           |
| UPC-A 拡張クーポンコード              | ]E3        |                           |
| UPC-E                        | ]E0        |                           |
| UPC-E アドオン                   | ]E3        |                           |
| UPC-E1                       | ]X0        |                           |



## 11. プリフィックス/サフィックス

「補足 B. キャラクタ/キーストローク対応表」を参照して、任意のプリフィックス及びサフィックスを設定します。

| コマンドバーコード                                                                                          | 説明                                                                                                                         | デフォルト          |
|----------------------------------------------------------------------------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----------------|
| <br>5 0 C 0 1 0 7 | プリフィックス設定<br>続けて、「補足 A. 数値バーコード」で設定したいキャラクタ又はキーストロークに対応する 4 桁の値をスキャンします。例えば、キーストローク「F1」を設定する場合は、「5」「0」「0」「1」をスキャンします。      |                |
| <br>5 0 C 0 0 0 6 | サフィックス 1 設定<br>続けて、「補足 A. 数値バーコード」で設定したいキャラクタ又はキーストロークに対応する 4 桁の値をスキャンします。例えば、キーストローク「Enter」を設定する場合は、「6」「0」「5」「8」をスキャンします。 | Enter<br>Or CR |
| <br>5 0 C 0 2 0 8 | サフィックス 2 設定<br>続けて、「補足 A. 数値バーコード」で設定したいキャラクタ又はキーストロークに対応する 4 桁の値をスキャンします。例えば、キーストローク「\$」を設定する場合は、「1」「0」「3」「6」をスキャンします。    |                |

### 11.1. データ送信フォーマット

| コマンドバーコード                                                                                            | 説明                                      | デフォルト |
|------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------|-------|
| <br>2 0 C 1 0 0 0   | <データ><br>データのみ送信、プリフィックス/サフィックスは送信しません。 |       |
| <br>2 0 C 1 0 0 1 | <データ><サフィックス 1>                         | ■     |
| <br>2 0 C 1 0 0 2 | <データ><サフィックス 2>                         |       |
| <br>2 0 C 1 0 0 3 | <データ><サフィックス 1><サフィックス 2>               |       |
| <br>2 0 C 1 0 0 4 | <プリフィックス><データ>                          |       |
| <br>2 0 C 1 0 0 5 | <プリフィックス><データ><サフィックス 1>                |       |
| <br>2 0 C 1 0 0 6 | <プリフィックス><データ><サフィックス 2>                |       |
| <br>2 0 C 1 0 0 7 | <プリフィックス><データ><サフィックス 1><サフィックス 2>      |       |

## 12. FN1 代替キャラクタ

「補足 B. キャラクタ/キーストローク対応表」を参照して、任意の FN1 代替キャラクタを設定します。

| コマンドバーコード                                                                                          | 説明                                                                                                                        | デフォルト           |
|----------------------------------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------------|
| <br>5 0 C 0 5 0 B | FN1 代替キャラクタ設定<br>続けて、「補足 A. 数値バーコード」で設定したいキャラクタ又はキーストロークに対応する 4 桁の値をスキャンします。例えば、キーストローク「\$」を設定する場合は、「1」「0」「3」「6」をスキャンします。 | Enter<br>(7013) |

## 13. ノーリード 送信

| コマンドバーコード                                                                                          | 説明                | デフォルト |
|----------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------|-------|
| <br>1 0 2 0 1 0 1 | ノーリード (NR) を送信する  |       |
| <br>1 0 2 0 1 0 0 | ノーリード (NR) を送信しない | ■     |

## 14. Bluetooth

| コマンドバーコード                                                                         | 説明                    | デフォルト |
|-----------------------------------------------------------------------------------|-----------------------|-------|
|  | Bluetooth 全パラメータデフォルト |       |

### 14.1. プロファイル

#### SPP マスターモード 1(専用クルードル)

| コマンドバーコード                                                                         | 説明                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                       | デフォルト                                                                               |
|-----------------------------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------|
|  | <p><b>SPP マスターモード</b><br/>左記コマンドバーコードをスキャンすることで、SPP マスターモード 1 に設定できます。続けて、クルードル裏面の MAC アドレスバーコードをスキャンします。MAC アドレスバーコードをスキャンすると、リーダーは、緑色 LED 一回点滅とブザー 3 回を鳴動します。接続が確立すると、リーダーはビープとブザーを鳴動し、青色 LED を 10 点滅させ、クルードルの LED が青色常時点灯します。<u>接続の確立には、10 秒程度要します。</u></p> <p>MAC アドレスバーコード 例</p>  |  |

#### SPP マスターモード 2(専用クルードル以外、市販ドングルなど)

| コマンドバーコード                                                                           | 説明                                                                                                                                                                                                                                                                                                                | デフォルト |
|-------------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------|
|  | <p><b>SPP マスターモード 2</b><br/>左記コマンドバーコードをスキャンすることで、SPP マスターモード 2 に設定できます。続けて、接続したいデバイス側の MAC アドレスバーコードをスキャンします。</p> <p><b>MAC アドレスバーコードの作成方法</b><br/>接続したい MAC アドレスの前に「%+\$」付加して、コード 39 でエンコードします。</p> <p>MAC アドレスバーコード 例</p>  |       |

## SPP スレブ モード

| コマンド バージョン                                                                                         | 説明                                                                                                                                                                             | デフォルト |
|----------------------------------------------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------|
| <br>* % A 1 J 2 * | <b>SPP スレブ モード</b><br>左記コマンド バージョン をスキャンすることで、SPP スレブ モード に設定できます。マスター バージョン で検索して、ペアリング を行ってください。<br>デフォルトの PIN コード は、「000000」です。接続が確立すると、リーダ はビープ音とビブ音を鳴動し、青色 LED を30点滅させます。 |       |

## HID モード

| コマンド バージョン                                                                                         | 説明                                                                                                                                                                                           | デフォルト |
|----------------------------------------------------------------------------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------|
| <br>* % A 1 J 0 * | <b>HID モード</b><br>左記コマンド バージョン をスキャンすることで、HID モード に設定できます。マスター バージョン で検索して、ペアリング を行ってください。PIN コード 入力が必要な場合は、次頁の「英数字バージョン表」を使って、PIN コード をスキャンします。接続が確立すると、リーダ はビープ音とビブ音を鳴動し、青色 LED を30点滅させます。 |       |

## PIN コード の設定

| コマンド バージョン                                                                                                                                                                                                                              | 説明                                                                                                                                                                            | デフォルト  |
|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--------|
| 開始<br><br>* % + \$ 0 0 0 F \$ *<br>確定<br><br>* % + \$ 0 0 0 G \$ * | <b>PIN コード の設定</b><br>左の開始コマンド バージョン をスキャンした後、続けて、次頁の「英数字バージョン表」で最大 6 桁の PIN コード をスキャンし、最後に「確定」コマンド バージョン をスキャンします。例えば、123ABC に設定したい場合は、「開始」「1」「2」「3」「A」「B」「C」「確定」の順でスキャンします。 | 000000 |

| 英数字バーコード表                                                                                           |                                                                                                          |                                                                                                      |                                                                                                            |
|-----------------------------------------------------------------------------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 0<br><br>* 3 0 *   | 1<br><br>* 3 1 *<br>1   | 2<br><br>* 3 2 *   | 3<br><br>* 3 3 *<br>3   |
| 4<br><br>* 3 4 *   | 5<br><br>* 3 5 *<br>5   | 6<br><br>* 3 6 *   | 7<br><br>* 3 7 *<br>7   |
| 8<br><br>* 3 8 *   | 9<br><br>* 3 9 *<br>9   | A<br><br>* 4 1 *   | B<br><br>* 4 2 *<br>B   |
| C<br><br>* 4 3 *   | D<br><br>* 4 4 *<br>D   | E<br><br>* 4 5 *   | F<br><br>* 4 6 *<br>F   |
| G<br><br>* 4 7 *   | H<br><br>* 4 8 *<br>H   | I<br><br>* 4 9 *   | J<br><br>* 4 A *<br>J   |
| K<br><br>* 4 B * | L<br><br>* 4 C *<br>L | M<br><br>* 4 D * | N<br><br>* 4 E *<br>N |
| O<br><br>* 4 F * | P<br><br>* 5 0 *<br>P | Q<br><br>* 5 1 * | R<br><br>* 5 2 *<br>R |
| S<br><br>* 5 3 * | T<br><br>* 5 4 *<br>T | U<br><br>* 5 5 * | V<br><br>* 5 6 *<br>V |
| W<br><br>* 5 7 * | X<br><br>* 5 8 *<br>X | Y<br><br>* 5 9 * | Z<br><br>* 5 A *<br>Z |

## 14.2. クレジットID表示

| コマンドバーコード                                                                                          | 説明    | デフォルト |
|----------------------------------------------------------------------------------------------------|-------|-------|
| <br>* % A 2 8 0 * | 有効にする | ■     |
| <br>* % A 2 8 1 * | 無効にする |       |

## 14.3. 自動再接続

HIDモードで有効な機能で、通信圏外から復帰すると、自動的に再接続を行います。

| コマンドバーコード                                                                                          | 説明    | デフォルト |
|----------------------------------------------------------------------------------------------------|-------|-------|
| <br>* % A 1 8 8 * | 有効にする | ■     |
| <br>* % A 1 8 0 * | 無効にする |       |

## 14.4. 通信圏外メモリ機能

| コマンドバーコード                                                                                            | 説明                                                                 | デフォルト |
|------------------------------------------------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------|-------|
| <br>* % A 1 4 4 *  | 有効にする<br>通信圏外の場合、読取データをメモリに保存し、通信圏内に復帰すると、メモリ内のデータを送信し、メモリをクリアします。 | ■     |
| <br>* % A 1 4 0 * | 無効にする<br>通信圏外で読み取ったデータは、エラーフラグを鳴動し、破棄します。                          |       |
| <br>* % A 4 K 0 * | メモリデータをトリガキーで送信する<br>通信圏内に復帰した後、トリガキーを押下で、メモリ内のデータを送信します。          | ■     |
| <br>* % A 4 K 4 * | メモリデータを自動送信する<br>通信圏内に復帰した後、メモリ内のデータを自動的に送信します。                    |       |

## 14.5. iOSソフトウェアキーボード表示切替

トリガキーのダブルクリックでソフトウェアキーボードの表示/非表示を切り替えることができます。

| コマンドバーコード                                                                                            | 説明    | デフォルト |
|------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------|-------|
| <br>* % A 4 0 8 * | 有効にする | ■     |
| <br>* % A 4 0 0 * | 無効にする |       |

## 14.6. スリープモード

指定時間操作が行われないと、リーダーはスリープモードに移行し、トリガーを押すと、復帰します。

| コマンドバーコード                                                                                          | 説明   | デフォルト |
|----------------------------------------------------------------------------------------------------|------|-------|
| <br>* % A 2 7 2 * | 1 分  |       |
| <br>* % A 2 7 3 * | 10 分 |       |
| <br>* % A 2 7 0 * | 無し   | ■     |

## 14.7. メモリモード

| コマンドバーコード                                                                                          | 説明             | デフォルト |
|----------------------------------------------------------------------------------------------------|----------------|-------|
| <br>* % A 1 0 8 * | メモリモード ON にする  |       |
| <br>* % A 1 0 0 * | メモリモード OFF にする | ■     |

以下のコマンドバーコードは、シングルキャストで動作します。「設定開始」「設定終了」は必要ありません。

メモリーデータを送信 (メモリーデータはクリアされません)



最後のメモリーデータを削除



メモリーデータをクリア



## 14.8. システムコマンド

|                         |                          |
|-------------------------|--------------------------|
| <p>リーダーファームウェアバージョン</p> | <p>クレードルファームウェアバージョン</p> |
| <p>リーダー MAC アドレス</p>    | <p>クレードル MAC アドレス</p>    |

## 15.スマートフォン液晶読み取り

| スマートバーコード                                                                                          | 説明    | デフォルト |
|----------------------------------------------------------------------------------------------------|-------|-------|
| <br>N 0 2 C C 0 3 | 有効にする | ■     |
| <br>N 0 2 C C 0 0 | 無効にする |       |



補足 A. 数値バーコード

| 数値バーコード表                                                                                                           |                                                                                                                 |
|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| <div>0</div>  <div>A0</div>       | <div>1</div>  <div>A1</div>  |
| <div>2</div>  <div>A2</div>       | <div>3</div>  <div>A3</div>  |
| <div>4</div>  <div>A4</div>       | <div>5</div>  <div>A5</div>  |
| <div>6</div>  <div>A6</div>       | <div>7</div>  <div>A7</div>  |
| <div>8</div>  <div>A8</div>      | <div>9</div>  <div>A9</div> |
| <div>キャンセル</div>  <div>A-</div> |                                                                                                                 |

## 補足 B. キャラクタ/キー-ストローク対応表

| 値    | キャラクタ/キー-ストローク    | 値    | キャラクタ/キー-ストローク | 値    | キャラクタ/キー-ストローク |
|------|-------------------|------|----------------|------|----------------|
| 1000 | CTRL+2            | 1073 | I              | 2083 | ALT+S          |
| 1001 | CTRL+A            | 1074 | J              | 2084 | ALT+T          |
| 1002 | CTRL+B            | 1075 | K              | 2085 | ALT+U          |
| 1003 | CTRL+C            | 1076 | L              | 2086 | ALT+V          |
| 1004 | CTRL+D            | 1077 | M              | 2087 | ALT+W          |
| 1005 | CTRL+E            | 1078 | N              | 2088 | ALT+X          |
| 1006 | CTRL+F            | 1079 | O              | 2089 | ALT+Y          |
| 1007 | CTRL+G            | 1080 | P              | 2090 | ALT+Z          |
| 1008 | CTRL+H            | 1081 | Q              | 3000 | 右 CTRL         |
| 1009 | CTRL+I (TAB)      | 1082 | R              | 3048 | GUI+0          |
| 1010 | CTRL+J (LF)       | 1083 | S              | 3049 | GUI+1          |
| 1011 | CTRL+K            | 1084 | T              | 3050 | GUI+2          |
| 1012 | CTRL+L            | 1085 | U              | 3051 | GUI+3          |
| 1013 | CTRL+M (CR/Enter) | 1086 | V              | 3052 | GUI+4          |
| 1014 | CTRL+N            | 1087 | W              | 3053 | GUI+5          |
| 1015 | CTRL+O            | 1088 | X              | 3054 | GUI+6          |
| 1016 | CTRL+P            | 1089 | Y              | 3055 | GUI+7          |
| 1017 | CTRL+Q            | 1090 | Z              | 3056 | GUI+8          |
| 1018 | CTRL+R            | 1091 | [              | 3057 | GUI+9          |
| 1019 | CTRL+S            | 1092 | ¥              | 3065 | GUI+A          |
| 1020 | CTRL+T            | 1093 | ]              | 3066 | GUI+B          |
| 1021 | CTRL+U            | 1094 | ^              | 3067 | GUI+C          |
| 1022 | CTRL+V            | 1095 | -              | 3068 | GUI+D          |
| 1023 | CTRL+W            | 1096 | `              | 3069 | GUI+E          |
| 1024 | CTRL+X            | 1097 | a              | 3070 | GUI+F          |
| 1025 | CTRL+Y            | 1098 | b              | 3071 | GUI+G          |
| 1026 | CTRL+Z            | 1099 | c              | 3072 | GUI+H          |
| 1027 | CTRL+[            | 1100 | d              | 3073 | GUI+I          |
| 1028 | CTRL+¥            | 1101 | e              | 3074 | GUI+J          |
| 1029 | CTRL+]            | 1102 | f              | 3075 | GUI+K          |
| 1030 | CTRL+6            | 1103 | g              | 3076 | GUI+L          |
| 1031 | CTRL              | 1104 | h              | 3077 | GUI+M          |
| 1032 | Space             | 1105 | i              | 3078 | GUI+N          |
| 1033 | !                 | 1106 | j              | 3079 | GUI+O          |
| 1034 | "                 | 1107 | k              | 3080 | GUI+P          |
| 1035 | #                 | 1108 | l              | 3081 | GUI+Q          |
| 1036 | \$                | 1109 | m              | 3082 | GUI+R          |
| 1037 | %                 | 1110 | n              | 3083 | GUI+S          |
| 1038 | &                 | 1111 | o              | 3084 | GUI+T          |
| 1039 | '                 | 1112 | p              | 3085 | GUI+U          |
| 1040 | (                 | 1113 | q              | 3086 | GUI+V          |
| 1041 | )                 | 1114 | r              | 3087 | GUI+W          |
| 1042 | *                 | 1115 | s              | 3088 | GUI+X          |
| 1043 | +                 | 1116 | t              | 3089 | GUI+Y          |
| 1044 | ,                 | 1117 | u              | 3090 | GUI+Z          |
| 1045 | -                 | 1118 | v              |      |                |
| 1046 | .                 | 1119 | w              |      |                |
| 1047 | /                 | 1120 | x              |      |                |
| 1048 | 0                 | 1121 | y              |      |                |
| 1049 | 1                 | 1122 | z              |      |                |
| 1050 | 2                 | 1123 | {              |      |                |
| 1051 | 3                 | 1124 |                |      |                |
| 1052 | 4                 | 1125 | }              |      |                |
| 1053 | 5                 | 1126 | ~              |      |                |
| 1054 | 6                 | 2064 | ALT+2          |      |                |
| 1055 | 7                 | 2065 | ALT+A          |      |                |
| 1056 | 8                 | 2066 | ALT+B          |      |                |
| 1057 | 9                 | 2067 | ALT+C          |      |                |
| 1058 | :                 | 2068 | ALT+D          |      |                |
| 1059 | ;                 | 2069 | ALT+E          |      |                |
| 1060 | <                 | 2070 | ALT+F          |      |                |
| 1061 | =                 | 2071 | ALT+G          |      |                |
| 1062 | >                 | 2072 | ALT+H          |      |                |
| 1063 | ?                 | 2073 | ALT+I          |      |                |
| 1064 | @                 | 2074 | ALT+J          |      |                |
| 1065 | A                 | 2075 | ALT+K          |      |                |
| 1066 | B                 | 2076 | ALT+L          |      |                |
| 1067 | C                 | 2077 | ALT+M          |      |                |
| 1068 | D                 | 2078 | ALT+N          |      |                |
| 1069 | E                 | 2079 | ALT+O          |      |                |
| 1070 | F                 | 2080 | ALT+P          |      |                |
| 1071 | G                 | 2081 | ALT+Q          |      |                |
| 1072 | H                 | 2082 | ALT+R          |      |                |

GUI = Apple Key

|      |      |      |                 |      |              |
|------|------|------|-----------------|------|--------------|
| 4001 | PF1  | 6042 | *(ﾃﾝｷｰ)         | 7001 | Break        |
| 4002 | PF2  | 6043 | +(ﾃﾝｷｰ)         | 7002 | Delete       |
| 4003 | PF3  | 6044 | 未定義             | 7003 | Page Up      |
| 4004 | PF4  | 6045 | -(ﾃﾝｷｰ)         | 7004 | End          |
| 4005 | PF5  | 6046 | .(ﾃﾝｷｰ)         | 7005 | Page Down    |
| 4006 | PF6  | 6047 | / (ﾃﾝｷｰ)        | 7006 | Pause        |
| 4007 | PF7  | 6048 | 0 (ﾃﾝｷｰ)        | 7007 | Scroll Lock  |
| 4008 | PF8  | 6049 | 1 (ﾃﾝｷｰ)        | 7008 | Back Space   |
| 4009 | PF9  | 6050 | 2 (ﾃﾝｷｰ)        | 7009 | Tab          |
| 4010 | PF10 | 6051 | 3 (ﾃﾝｷｰ)        | 7010 | Print Screen |
| 4011 | PF11 | 6052 | 4 (ﾃﾝｷｰ)        | 7011 | Insert       |
| 4012 | PF12 | 6053 | 5 (ﾃﾝｷｰ)        | 7012 | Home         |
| 4013 | PF13 | 6054 | 6 (ﾃﾝｷｰ)        | 7013 | Enter        |
| 4014 | PF14 | 6055 | 7 (ﾃﾝｷｰ)        | 7014 | Escape       |
| 4015 | PF15 | 6056 | 8 (ﾃﾝｷｰ)        | 7015 | ↑            |
| 4016 | PF16 | 6057 | 9 (ﾃﾝｷｰ)        | 7016 | ↓            |
| 5001 | F1   | 6058 | Enter (ﾃﾝｷｰ)    | 7017 | ←            |
| 5002 | F2   | 6059 | Num Lock (ﾃﾝｷｰ) | 7018 | →            |
| 5003 | F3   |      |                 |      |              |
| 5004 | F4   |      |                 |      |              |
| 5005 | F5   |      |                 |      |              |
| 5006 | F6   |      |                 |      |              |
| 5007 | F7   |      |                 |      |              |
| 5008 | F8   |      |                 |      |              |
| 5009 | F9   |      |                 |      |              |
| 5010 | F10  |      |                 |      |              |
| 5011 | F11  |      |                 |      |              |
| 5012 | F12  |      |                 |      |              |
| 5013 | F13  |      |                 |      |              |
| 5014 | F14  |      |                 |      |              |
| 5015 | F15  |      |                 |      |              |
| 5016 | F16  |      |                 |      |              |
| 5017 | F17  |      |                 |      |              |
| 5018 | F18  |      |                 |      |              |
| 5019 | F19  |      |                 |      |              |
| 5020 | F20  |      |                 |      |              |
| 5021 | F21  |      |                 |      |              |
| 5022 | F22  |      |                 |      |              |
| 5023 | F23  |      |                 |      |              |
| 5024 | F24  |      |                 |      |              |
|      |      |      |                 |      |              |
|      |      |      |                 |      |              |

## 補足 C. ASCII コード 表

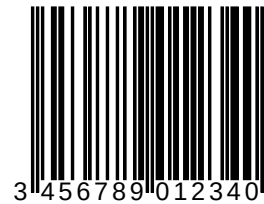
| ASCII コード 表 |      |     |    |   |   |   |   |   |
|-------------|------|-----|----|---|---|---|---|---|
|             | 0    | 1   | 2  | 3 | 4 | 5 | 6 | 7 |
| 0           | NULL | DLE | SP | 0 | @ | P | ` | p |
| 1           | SOH  | DC1 | !  | 1 | A | Q | a | q |
| 2           | STX  | DC2 | "  | 2 | B | R | b | r |
| 3           | ETX  | DC3 | #  | 3 | C | S | c | s |
| 4           | EOT  | DC4 | \$ | 4 | D | T | d | t |
| 5           | ENQ  | NAK | %  | 5 | E | U | e | u |
| 6           | ACK  | SYN | &  | 6 | F | V | f | v |
| 7           | BEL  | ETB | '  | 7 | G | W | g | w |
| 8           | BS   | CAN | (  | 8 | H | X | h | x |
| 9           | HT   | EM  | )  | 9 | I | Y | I | y |
| A           | LF   | SUM | *  | : | J | Z | j | z |
| B           | VT   | ESC | +  | ; | K | [ | k | { |
| C           | FF   | FS  | ,  | < | L | ¥ | l |   |
| D           | CR   | GS  | -  | = | M | ] | m | } |
| E           | SO   | RS  | .  | > | N | ^ | n | ~ |
| F           | SI   | US  | /  | ? | O | _ | o |   |

## 補足 D. サンプルコード

コード 39



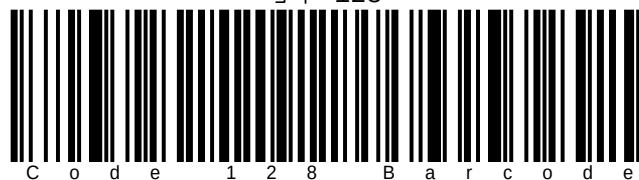
JAN-13



インターピット 2/5 (ITF)



コード 128



GS1-128



GS1 Databar イクスパンデット



## 修理依頼書

修理を依頼される場合は、下記の用紙に必要事項を記入し、修理品と一緒に販売店へご返送ください。尚、修理は全て「パック」方式で行います。現地での出張修理などは一切行いません。

弊社での修理は、ユニット（モジュール）単位の動作不良報告及び交換を行っています。故障原因調査・解析の報告は行っておりませんの、予め、ご了承ください。

| 修理依頼書                                                                                                  |                |       |      |
|--------------------------------------------------------------------------------------------------------|----------------|-------|------|
| 依頼日                                                                                                    |                |       |      |
| 会社名                                                                                                    |                |       |      |
| 部署名                                                                                                    |                |       |      |
| 担当者                                                                                                    |                |       |      |
| メールアドレス                                                                                                |                |       |      |
| 電話番号                                                                                                   |                | FAX番号 |      |
| ご住所                                                                                                    |                |       |      |
| 販売店名                                                                                                   |                | ご購入日  |      |
| 製品型番（名称）                                                                                               |                |       |      |
| 製造番号（S/N）                                                                                              |                |       |      |
| 付属品                                                                                                    | ケーブル[ ]・ACアダプタ |       |      |
| トラブルの症状を詳しく記入してください。<br>また、症状を確認するために必要なバーコードラベルや磁気カード等があれば、修理品に添付してお送りください。                           |                |       |      |
| 症状発生頻度 : <input type="checkbox"/> 常に起こる <input type="checkbox"/> 1日に [ ] 回程度                           |                |       |      |
| インターフェイス : <input type="checkbox"/> キーボード <input type="checkbox"/> RS232C <input type="checkbox"/> USB |                |       |      |
| <input type="checkbox"/> その他 [ ]                                                                       |                |       |      |
| 接続ホスト : メーカー [ ]                                                                                       |                |       |      |
| 型番 [ ]                                                                                                 |                |       |      |
| その他、使用状況を記入ください。                                                                                       |                |       |      |
| 返送先                                                                                                    |                |       |      |
| 見積・請求先                                                                                                 |                |       |      |
| スポットサービス時は、修理見積後に修理をキャンセルされた場合に限り、見積料として弊社所定の料金を申し受けます。ご了承いただける場合は、押印の上、修理品に添付してご返送ください。               |                |       | ご確認印 |